

# 復旧・復興トピックス 2011

## 3月

### 11日

14:46

東北地方太平洋沖地震発生。地震発生と同時に県庁5Fに知事を本部長とする非常災害対策本部を設置。この部局別構成機関として、土木部長を本部長とする土木部災害対策本部を県庁8F土木部会議室に設置し、情報収集を直ちに開始。建設会社との道路管理業務及び災害時応援協定に基づく道路パトロール等を自動的に開始。

14:49

大津波警報発令。宮城県沿岸に津波、最大6mと予想(気象庁)。

15:00

仙台土木事務所、気仙沼土木事務所において、大津波警報による道路通行規制を開始。東部土木は連絡不通。

15:14

宮城県沿岸に津波、最大6mから10mと修正(気象庁)。

15:15

東北地方太平洋沖地震の最大余震発生(マグニチュード7.6、震源地:茨城県沖、深さ43km、最大震度6強)。

15:30

#### 「第1回災害対策本部会議」

知事より津波で甚大な被害が出ているので、人命救助、情報収集に全力を挙げると指示。

15:40

東部土木事務所において、大津波警報による道路通行規制。



16:20

#### 「第1回土木部災害対策本部会議」

仙台港国際ビジネスサポートセンター(通称:アクセル)に入居している仙台塩釜港湾事務所、仙台港背後地土地区画整理事務所が半壊状態。県、市町を併せて陸こう

水門852基の閉扉を確認中。土木部職員の安否976人中726人を確認。しかし気仙沼土木事務所、中南部下水道事務所、仙台背後地土地区画整理事務所の3事務所と連絡不通。

18:30

#### 「第2回土木部災害対策本部会議」

国交省からR47,48,113,286号を緊急輸送路とするため一般車通行止めとする旨の連絡あり。

21:30

#### 「第3回土木部災害対策本部会議」

県管理道路で全面通行止め30箇所、片側交互通行12箇所、国交省から山形道を緊急輸送路とするため一般車通行止めとする旨の連絡あり。



22:50

#### 「第3回土木部災害対策本部会議」

宮城県建設業協会に各避難所へ発電機、燃料の搬送を要請。

### 12日

0:30

日本土木工業協会東北支部へ緊急物資受け入れのため、津波浮遊コンテナ、ガレキ撤去を要請。

内陸部にある仙南、大崎、栗原、登米の宮城県建設業協会の各支部に対し、沿岸部への応援を要請。

4:30

#### 「第4回土木部災害対策本部会議」

県管理道路で全面通行止め36箇所、片側交互通行21箇所。

6:30

東北地方整備局のヘリに土木部職員2名が同乗し、沿岸部と最大震度7を記録した栗原市を調査。

7:25

宮城県測量設計業協会に連絡体制の構築を依頼し、協会側の体制が整い次第依頼

する予定として連絡。

仙台塩釜港への緊急物資受け入れのため作業船を確保、しかし警報解除待ちで待機。

8:02

宮城県宅地建物取引業協会に民間賃貸住宅の空室情報提供を依頼。

10:30

#### 「第5回土木部災害対策本部会議」

県管理道路で全面通行止め39箇所、44路線62箇所交通規制。仙台空港ビル1,400人避難、食料、水の支援要請。気仙沼合庁で職員70人、一般200人が避難、しかし津波が引かないので合庁内で待機。

11:20

宮城県造園建設業協会へ公園等の被災状況を依頼。

14:30

#### 「第6回土木部災害対策本部会議」

県管理道路で全面通行止め35箇所、60路線86箇所交通規制。土砂災害警戒情報発表基準の暫定運用を開始。仙台塩釜港湾事務所、仙台港背後地土地区画整理事務所は津波被害のため、仙台土木事務所に異動し業務継続する準備中。

15:36

東京電力福島第一原子力発電所1号機水素爆発。

18:30

#### 「第7回土木部災害対策本部会議」

建築物危険度判定調査を栗原市及び宮城野区の一部で実施。

### 13日

被災宅地危険度判定を開始。建築基準法第85条第1項の規定に基づく区域指定(仙台市、石巻市、大崎市除く)。

7:30

仙台空港ビルから1,400人が避難開始。

11:00

女川原子力発電所へのアクセス道確保作業を開始。

### 14日

東京電力福島第一原子力発電所3号機水素爆発。県内避難者数が最大で約32万人となる。

(社)プレハブ建築協会へ仮設住宅10,000

戸の建設を要請。災害時の応援協定を締結していた11団体に文書で応援要請。公営住宅の空室状況を把握し、賃貸住宅、旅館、ホテル等の確保を要請。女川原子力発電所へのアクセス道を確保。

15日

仙台空港に救援復旧対策に使用するヘリポート4機の駐機スペース確保。

16日

被災地における災害応急対策を優先するため、工事の一時中止について周知。

17日

国土交通省が仙台空港北側で排水作業を開始。

下水道復旧に関する県民への協力呼びかけラジオ等の放送を開始し、全戸にチラシ配布。

ガレキ撤去が応急完了した仙台港高松埠頭に緊急物資輸送船が震災後初入港。

18日

JX日鉱日石エネルギー仙台製油所への燃料輸送ルート確保。塩釜貞山油槽所への燃料輸送ルート確保。

19日

県管理道路の通行規制がピークに。全166箇所(全面通行止め92箇所、片側交互通行74箇所)。

20日

津波で甚大な被害を受けた「県南浄化センター」をマスコミ初公開。

21日

塩釜港石油専用棧橋に2,000kl積み石油輸送船が初入港。

22日

知事が仙台港中野2号埠頭と仙塩浄化センターを現地視察。

被災者に対する住宅相談窓口を設置。

25日

苫小牧港からのフェリーが仙台港フェリー埠頭1号岸壁に震災後初入港(仙台～苫小牧間)。

26日

津波で甚大な被害を受けた気仙沼港を一部供用開始。

27日

塩釜港石油専用棧橋に5,000kl積み石油輸送船が入港(この入港を契機にガソリンなど油燃料の需給環境が次第に改善)。

28日

応急仮設住宅の建設に着手(第1次着工分13市町1,110戸)。

津波で甚大な被害を受けた女川港を一部供用開始。

29日

建設業の関係各団体に復旧工事における被災者雇用の促進及び暴力団排除について依頼。

30日

津波で甚大な被害を受けた石巻港を一部供用開始。

4月

1日

仙台塩釜港及び石巻港における一般船舶の利用を再開。

早期回復と各港湾背後企業の早期復興に向け「第1回石巻港復興会議」を開催。

津波で甚大な被害を受けた「仙塩浄化センター」をマスコミ初公開。

2日

早期回復と各港湾背後企業の早期復興に向け「第1回仙台塩釜港復興会議」を開催。

7日

仙台港における自動車運搬船の定期航路を再開。

11日

名古屋港からのフェリーが仙台港に震災後初入港(仙台～名古屋間)。

13日

仙台空港で国内臨時便が震災後初就航。



15→25日

輸入住宅資材を用いた応急仮設住宅供給事業者の提案に係る事前整理の受付を開始。

16日

完成自動車の積み出しを仙台港から震災後初入港。

19→28日

応急仮設住宅の供給事業者の提案に係る事前整理の受付を開始。

20日

東北地方太平洋沖地震における県管理道路の通行規制箇所の解除見通しを公表。

21日

東日本大震災により被災した公共土木施設等の復旧・復興工程を公表。東北地方太平洋沖地震に伴う河川等の暫定的な水位基準の運用を公表。

27日

石巻港の中島2号岸壁に一般貨物船が震災後初入港。

28日

塩竈市で県内初となる仮設住宅へ入居を開始。



5月

10→12日

公共土木施設第1次災害査定(6班体制、全110件)。

10日

被災建築物応急危険度判定を完了(12市18町、危険5,200件、要注意7,553件、調査済37,968件、合計50,721件)。

13日

「第1回公共土木施設構造検討会」を開催。

16→20日

公共土木施設第2次災害査定(5班体制、全110件)。

19日→3月3日

被災地地危険度判定を完了(3市7町、危険886件、要注意1,470件、調査済1,640件、合計3,996件)。

# 平成23年度 | 5月～H24.3月

## 5月

23→27日

公共土木施設第3次災害査定(6班体制, 全238件)。

30→6月3日

公共土木施設第4次災害査定(6班体制, 全234件)。

## 6月

6→10日

公共土木施設第5次災害査定(6班体制, 全210件)。

8日

仙台港における内航フィダーコンテナ航路を再開。

東部土木事務所向陽町分庁舎を開設。

15日

アメリカ土木学会が被災地を現地調査。

21日

「第1回被災3県土木部長会議」を宮城県で開催。

22日

「第2回公共土木施設構造検討会」を開催。

25→26日

仙台港エリア復興イベント「マルシェ・ジャポンin仙台港」を開催。

## 7月

1日

津波で被災した東部土木事務所の修理が完了し業務を再開。

6日

石巻港の岸壁、荷さばき地の応急復旧が完了。

8日

秋篠宮同妃両殿下、石巻市などをご訪問。

11日

石巻港の日和7号岸壁に大型貨物船が震災後初入港。



25日

仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運行再開。



## 8月

2日

第2回宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会を開催。

11→14日

仙台港エリア復興イベント「with LIGHT UP NIPPON」 「マルシェ・ジャポン in 仙台港」を開催。

## 9月

1日

第2回「被災3県土木部長会議」を岩手県で開催。

5日

仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン1/4基目の供用を再開。

11日

「東日本大震災の記録(暫定版)」を発刊。

12→30日

「宮城県社会資本再生・復興計画」のパブリックコメントを開始。

15日

仙台港で日本初となる45フィートコンテナの第一船出航。  
「第3回公共土木施設構造検討会」を開催。



20→30日

「3.11 東日本大震災復旧・復興パネル展」を開催。

25日

仙台空港ターミナルビルが完全復旧し、国際定期便(仙台～ソウル便)再開。

30日

仙台港における国際定期コンテナ航路(中国/韓国)を再開。

## 10月

1日

仙台空港アクセス鉄道的全線運行再開。  
2日仙台空港で国際定期便(仙台～グアム便)再開。



18日

津波で落橋した新北上大橋及び定川大橋の仮橋を供用開始。



24日

「宮城県社会資本・再生復興計画」を策定し公表。

4日

応急仮設住宅が全戸分完成(15市町22,042戸)。

## 11月

11日

被災市街地復興特別措置法に基づく被災市街地復興推進地域を都市計画決定(気仙沼市, 名取市, 女川町, 南三陸町)。

14日

「第3回被災3県土木部長会議」を福島県で開催。



14日

地震で被災した志田橋の通行止め解除。

23日

気仙沼市の要請で応急仮設住宅の建設を追加着手(6団地53戸)。

24日

「みやぎ県北高速幹線道路」第1期区間を全線供用開始。



「第3回宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会」を開催。

## 12月

21日

「宮城県復興住宅計画」を策定し公表。

26日

気仙沼市の要請で建設した応急仮設住宅が全戸完成(6団地53戸)。

## 平成24年1月

13日

国内初となる45フィートコンテナ輸入を仙台港において開始。

15日

応急仮設住宅の寒さ対策追加加工事が完成(401団地, 21,572戸)。

22日

仙台港における北米西岸/東南アジアコンテナ航路を再開。



23日

公共土木施設災害査定完了(全29次, 5,908件)。

27日

気仙沼地区の復興のシンボルとなる大島架橋事業に着手。



30日

「第1回宮城県統合港湾長期構想委員会」を開催。

## 2月

6日

「第4回被災3県土木部長会議」を宮城県で開催。

9日

「東日本大震災社会資本再生・復興シンポジウム」を開催し, 土木部の取組を一般聴講者に報告。

10日

「仙台国際貿易港首都圏セミナー」を東京で開催。

15日

「公共土木施設等復旧方針」を策定し公表。

21日

災害公営住宅の整備について被災市町と協定締結(東松島市, 亶理町)。

## 3月

3日

津波で甚大な被害を受けた大曲海岸の堤防復旧に着手。



9日

「3.11伝承・減災プロジェクト」に着手し, 津波浸水表示板を県内の公共施設に設置開始。



11日

南三陸町の追悼式に知事代理として土木部長が出席。

21日

「宮城県社会資本・再生復興計画緊急アクションプラン」を策定し公表。

22日

「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会」を開催し, 一般聴講者に県内の建築被害を報告。

25日

国際定期便(仙台-上海經由北京線)再開。



27日

国際定期便(仙台-大連經由北京線)再開。「第2回宮城県統合港湾長期構想委員会」を開催。

29日

「宮城県地方港湾審議会」を開催し, 仙台塩釜港, 石巻港, 松島港の港湾区域統合について審議。

# 復旧・復興トピックス 2012

## 4月

1日

### 仙台－長春線のチャーター便を運航

中国南方航空が仙台－長春線のチャーター便を震災後初運航しました。

2日

### 平成24年度自治法派遣職員へ辞令交付

28都道府県から派遣された104名の自治法派遣職員へ4月1日付けで村井知事から辞令が交付されました。



2日

### 不動産鑑定評価の情報提供

県の災害復旧・復興事業の用地を取得するため、一括発注した不動産鑑定評価136地点の結果を沿岸15市町に対して情報提供を行いました。

4日

### 災害公営住宅の整備戸数の見直し

整備戸数：約12,000戸(17市町)を約15,000戸(21市町)に見直しました。

8日

### 「仙石線多賀城地区連続立体交差事業高架切替記念式典を開催

JR仙石線多賀城駅周辺は、下り線の高架切替を行うことで、4箇所の踏切遮断が解消され、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れが確保されるようになりました。

25日

### 仙塩浄化センター下水処理開始式を開催

仙塩浄化センターの復旧は、STEP3「水質

改善期II」に移行し、生物処理が可能となり、震災前の50%の能力まで復旧しました。

28日

### 高砂コンテナターミナルガントリークレーン3号機の供用再開

ガントリークレーン全4基が完全復旧し、複数の船舶が同時に着岸する場合などに、より効率的な荷役が可能となりました。

29日

### 仙台空港臨空公園の開園

約1ヘクタールの園内に遊具広場や芝生広場を備え、展望スペースからは迫力ある飛行機の離発着が観察出来るようになっており、多くの家族連れで賑わっています。

## 5月

1日

### 任期付職員へ辞令交付

復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が交付されました。

17日

### 中国／韓国航路（外貿定期コンテナ航路）が新たに1便就航

中国／韓国航路、北米航路、韓国航路(釜山港)とあわせて、外貿コンテナ航路は、4航路週4便となり、ほぼ震災前の水準に回復しました。



17日

### 河川・海岸の復旧高さや復旧スケジュールをホームページで公開

見える復興見せる復興の取組として、河川・海岸の復旧方法の具体的な位置や堤防

高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図等をホームページで公開しました。

21日

### 仙台-ソウル線のデイリー運航再開

アジアナ航空の仙台-ソウル線は、震災前と同じ毎日1往復の運航となりました。

21日

### 第1回宮城県復興道路連絡調整会議を開催

復興道路・復興支援道路である三陸沿岸道路と宮城県北高速幹線道路の早期完成を図るため、関係機関で用地取得や遺跡調査等、整備に関する課題について、意見交換を行いました。

23日

### 第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会を開催

復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、国土交通省東北整備局、農林水産省東北農政局及び東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図りました。

26日

### 津波防災シンポジウムを開催

「歴史が伝える津波、歴史にしていこう津波」というテーマのもと開催したシンポジウムには、約250名の参加者が集まりました。

31日

### 国道113号館矢間バイパスが開通

丸森大橋の供用開始にあたり、国道113号館矢間バイパス開通式が開催され、全線開通を祝いました。

## 6月

1日

### 「東日本大震災1年の記録」, 「東日本大震災 職員の証言(想い)」を公開

震災発生時等の対応、震災発生時の証言(想い)などを取りまとめ、今後の災害対策への活用を図るため、記録誌を公開しました。

1日

**平成24年度宮城県港湾復興大会を開催**

宮城県港湾協会が主催、国会議員や宮城県議会議員の皆様をはじめ、港湾関係団体等約400名が一堂に会する熱気あふれる大会となりました。

4日

**石巻港 災害復旧工事着工式を開催**

本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。広域石巻圏内の復興に大きく寄与すると期待します。



7日

**菖蒲田海岸災害復旧工事着工式を開催**

本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。七ヶ浜町の復興まちづくりに大きく寄与するものとなります。

8日

**第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催**

住宅・まちづくりに関する情報の交換・共有を図り、民間の力をお借りして全国のモデルとなる復興住宅を整備していきます。

27日

**気仙沼市と都市再生機構(UR)が協力協定を締結**

気仙沼市と独立行政法人都市再生機構(UR)は、東日本大震災の被災地域における復興まちづくりに関する覚書と協力協定を締結しました。

29日

**夢メッセみやぎ復旧完了**

東北最大級の屋内展示場である夢メッセみやぎは、甚大な被害を受けるも早期の復旧活動をすすめて、完全復旧しました。

7月

12日

**仙台松島道路4車線化を供用開始**

三陸自動車道の仙台松島道路(宮城県道路公社管理)において施工中の4車線化工事が進み、利府中ICと松島海岸ICが供用開始となりました。



13日

**宮城スタジアム屋根応急改修・災害復旧工事が完了**

宮城スタジアムは、地震により屋根が破損していましたが、約一年の工期をもって改修工事が完了しました。

18日

**宮城県災害公営住宅整備指針ガイドラインを策定**

災害公営住宅の整備の基本的な考え方や地域特性に配慮した取組を示し、快適で良好な居住空間を被災された方々に提供することを目的とした指針を策定しました。

19日

**女川町復興まちづくり基本協定調印式を開催**

女川町とUR都市再生機構が、復興まちづくり事業を協働して推進するための基本協定を、きぼうのかね商店街に締結しました。

20日

**石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業認可交付式を開催**

県内初となる石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業について事業認可しました。

30日

**中国南方航空による仙台ー長春線を再開**

仙台ー長春線の再開により、仙台空港の国際定期便の路線は、震災前と同じ6路線・7都市につながり、全線復活となりました。

8月

5日

**岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式を開催**

岩沼市玉浦西地区において防災集団移転促進事業が全国第一号として着手されました。

8日

**仙台松島道路「春日パーキングエリア完成式」開催**

仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間の利府町春日地内に本格的なパーキングエリアが建設され、完成式が開催されました。

30日

**第2回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催**

宮城県災害公営住宅整備指針ガイドライン、宮城県災害公営住宅設計標準などについて、関係機関で意見交換等を行いました。

31日

**戸倉海岸災害復旧工事 着工式を開催**

東日本大震災で被災した気仙沼本吉地域の建設海岸において、本復旧工事がスタートしました。

8月下旬

**来年度の自治法派遣職員の継続要請及び東日本大震災からの現状を報告**

宮城県土木部は、復旧・復興事業の業務量増大に対応するため、全国28都道府県から100名以上の派遣職員の応援をいただいております。これまでの応援に対する御礼と、来年度もマンパワー不足が見込まれることから引き続き派遣していただけるようお願いしました。また、「3.11 伝承・減災プロジェクト」の一環として、東日本大震災からの復旧・復興状況と教訓を伝えました。

9月

10日

**震災復興に伴う盛土材連絡調整会議を開催**

盛土材の安定確保に向けて、県及び沿岸15市町からなる連絡調整会議を設置し、土取場の確保や広域的な需給調整を行いました。

## 9月

10日

### 女川町荒立・陸上競技場跡地被災市街地復興土地区画整理事業「事業認可書交付式を開催

今年の3月に女川町被災市街地復興土地区画整理事業(226.4ha)が復興整備事業として計画に位置づけられてから約半年、同町荒立(あらだて)地区と陸上競技場跡地地区について、事業認可しました。

18日

### 石巻東部浄化センター下水処理開始式を開催

同センターは、水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始することとなりました。これにより、県内の下水処理場の全てにおいて生物処理が再開されることになりました。

29日

### 女川町復興まちづくり着工式を開催

7月19日に女川町とUR都市再生機構との間で復興まちづくり事業の協定が締結され、コンストラクションマネジメント方式を導入し、土地区画整理事業では津波被災地で初めての工事着工となりました。



## 10月

1日

### 東部土木事務所分庁舎の閉鎖

東部土木事務所の道路建設第三班及び道路建設第四班は、これまで向陽町分庁舎で業務を行っておりましたが、平成24年10月1日から東部土木事務所内(別棟)に移転しました。

17日

### 定川河川災害復旧工事着工式を開催

東日本大震災で被災した石巻市及び東松島市の定川において、本復旧工事を着工しました。

17日

### 女川湾口防波堤災害復旧工事着工式を開催

女川港石浜地区において、女川町と共催で女川湾口防波堤の災害復旧工事着工式を執り行い、女川港の復旧・復興に向けた槌音が響きました。

17日

### 仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化の区域変更同意

東北をけん引する中核的国際拠点港湾の実現を目指し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化に取り組んできたところですが、10月17日付けで仙台塩釜港の港湾区域変更の同意と港湾法施行令の改正がなされました。

23日

### 建設業団体及び市町村との意見交換会を開催(～11月2日まで)

膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、宮城県建設業協会各支部会員、非会員、市町村との意見交換を実施しました。

## 11月

1日

### 弘川ダムの試験湛水式を開催

当ダムは10月にダム本体が完成し、試験湛水式を開催しました。また、弘川ダムのダム湖命名式が行われ、「田東湖」と決定されました。

3日

### 宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練の実施

昨年公布・施行された「津波対策の推進に関する法律」に定める「津波防災の日(11月5日)」に合わせ、県、気仙沼市、防災関係機関及び地域住民が一体となって各種訓練を行い、地震・津波に対する防災体制の確立と防災意識の高揚等を図りました。

14日

### 気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式を開催

式典では、来賓、関係者約100名の出席の

もと、黙祷の後、主催者からの挨拶、復旧工事概要説明を行い、工事の安全と早期復旧を祈念し鍬入れを行いました。

16日

### 国土交通省国土地理院と「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結

宮城県と国土交通省国土地理院が保有する地理空間情報の相互活用を促進するため、「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結しました。

20日

### 山元町「新山下駅周辺地区第一期(その2)」災害公営住宅の工事に着手

新山下駅周辺地区第一期分26戸の災害公営住宅建設に県として初めて着工しました。



## 12月

4日

### 土木部業務継続計画(BCP)改訂版の運用を開始

平成22年6月より運用している土木部BCPについて、東日本大震災の検証結果を受け改訂し、運用を開始しました。

18日

### (主)仙台三本木線「混内山道路整備事業」の行政代執行

本県では初めてとなる行政代執行が行われ、代執行権者から起業者へ土地が引き渡されました。

19日

### 一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結

県、市町村が管理する施設の給排水及び空調設備等の被害状況調査及び応急対策について、一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結しました。

20日

**仙塩浄化センター汚泥焼却施設の試運転を実施**

汚泥焼却施設の復旧工事が終了し、試運転を開始しました。復旧期間を当初計画よりも3ヶ月短縮しての工事完了しました。



26日

**被災市街地復興まちづくり勉強会を開催**

被災市街地復興土地地区画整理事業は、現在宮城県内5地区で事業認可済み、一団地の津波防災拠点市街地形成施設は5地区が都市計画決定済みです。両事業ともに、事業予定地区では住民との合意形成が図られつつあり、被災市街地の早期復興を図るため、県内市町の各事業担当者を対象とした勉強会を開催しました。

**平成25年1月**

23日

**大島架橋事業着工式を開催**

気仙沼市二ノ浜地区での道路改良工事及びトンネル本体工事の2工事を発注し、今後工事が本格的に稼働していくことから、工事着手の祝着と事業中の安全及び早期完成を祈念して大島架橋事業着工式を開催しました。



25日

**仙塩浄化センター汚泥焼却施設の汚泥焼却を開始**

汚泥焼却施設の復旧工事が当初計画より3ヶ月間短縮して完成し、正式に汚泥焼却を開始しました。

26日

**塩竈市伊保石地区災害公営住宅整備工事の安全祈願祭を開催**

塩竈市の伊保石地区に計画されている災害公営住宅の基盤整備工事に着手したことから、工事安全祈願祭を開催しました。伊保石地区の地域特性を生かすため建物配置を工夫し、緩勾配屋根が重なり合う美しい景観を創出しました。

29日

**岩沼海浜緑地着工式を開催**

県内の都市公園のうち、津波災害により壊滅的な被害を受けた公園の災害復旧工事第1号として岩沼海浜緑地の工事に着手しました。

31日

**～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラムin宮城を開催**

東日本大震災の発生から2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、復興フォーラムを宮城県庁2階講堂で開催しました。当日は、聴講者として470名以上のお客様にお越しいただきました。

**2月**

4日

**第2回貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会を開催**

「貞山運河再生・復興ビジョン」の策定に向けて、この度、第2回目となる学識者等による検討座談会を、一般に公開して開催しました。座談会に先立ち、平成24年度知水講座として、貞山運河に詳しい学識者等3名による基調講演をしていただきました。

14日

**南三陸町災害公営住宅整備事業着工式の開催**

南三陸町として初めての災害公営住宅に着手するにあたり、着工式が開催されました。災害公営住宅整備事業で町内8か所、計930戸を整備する計画になっています。

14日

**(主)気仙沼唐桑線「本町橋」が供用開始**

平成14年に事業着手した本町橋架替事業「本町橋」が完成し、供用を開始しました。供用開始にあたり、宮城県と気仙沼市の共催により「本町橋開通式」が多くの来賓の方々により御列席を賜り盛大に開催されました。

26日

**土木部業務継続計画(BCP)の地域版、建築・設備部門を運用開始**

東日本大震災の検証結果を受けて平成24年12月4日に改訂した土木部業務継続計画(BCP)の地域版、建築・設備部門の運用を開始しました。

**3月**

1日

**仙台・宮城デスティネーションキャンペーンのラッピング電車の運行開始**

宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」がラッピングされた仙台空港鉄道車輛の運行を開始しました。(～6月30日)

9日

**東松島市鳴瀬給食センター跡地地区の災害公営住宅工事に着手**

東松島市の鳴瀬給食センター跡地の災害公営住宅(21戸、5階建て、共同住宅)に着手しました。

20日

**亘理町荒浜地区の災害公営住宅に着手**

亘理町の荒浜地区の災害公営住宅(1,100戸、5階建て、共同住宅)に着手しました。



21日

**国際拠点港湾となる新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウムを開催**

三港統合により新たな段階を迎える国際拠点港湾仙台塩釜港について、行政、産業界、観光等様々な視点から講演いただき、宮城の港湾の将来展望について関係者の理解を深めました。

20日

**県南浄化センター下水道災害復旧完工式を開催**

津波で甚大な被害を受けた県南浄化センターの災害復旧工事が全て完成したのを記念して、完工式を開催しました。

# 復旧・復興トピックス 2013

## 4月

1日

### 平成25年度自治法派遣職員へ辞令伝達式

29都道府県から土木部に派遣された112名の自治法派遣職員へ4月1日付けで村井知事から辞令が交付され、遠藤土木部長から伝達されました。

1日

### 県内初の災害公営住宅入居開始 仙台港多賀城地区緩衝緑地一部再開園

12日

### 塩竈市北浜地区の土地区画整理事業認可書交付式

仙塩地区で初の被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可され、事業認可書が、宮城県遠藤土木部長から佐藤塩竈市長へ、直接手渡されました。交付式には、北浜地区まちづくり懇談会の地域代表者様にも御臨席いただきました。

### 復興推進計画（応急仮設建築物活用事業）の認定

県と10市町が共同申請した復興推進計画（10市町、65件）が内閣総理大臣から認定され、各市町の応急仮設建築物が2年3か月を超え、特定行政庁が1年以内ごとに認めることにより、計画期間まで存続できることになりました。

18日

### 大規模災害時における橋りょうの応急対策業務の応援に関する協定締結

大規模災害発生時の橋梁に関する被災状況調査等について、日本橋梁建設協会並びにプレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部と協定を締結しました。協定締結により、迅速・確実な被害状況調査が実施され、被害箇所の早期把握、二次災害の防止、早期復旧が可能となる等、災害に伴う道路交通障害の影響を最小限にすることが期待されます。

25日

### 「災害に強いまちづくり宮城モデル」担当者勉強会を開催

各市町の復興まちづくり担当者を対象に、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の概要説明、各市町の取組事例の紹介、事業推進上の課題解決に向けた意見交換などを行いました。

5月

18日

### 弘川ダム竣工式を開催

伊里前川総合開発事業の一環として平成4年度に着手した「弘川ダム」が4月26日に試験湛水を終了したことから、竣工式典を開催しました。

21日

### 貞山運河再生・復興ビジョンを策定

仙台湾沿岸地域の復興において、目標とする姿やそれを実現するための仕組みについて示し、復興のシンボルと誇れる運河群として再構築を図るため「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定・公表しました。

22日

### 女川港湾口防波堤復旧工事着工

女川港湾口防波堤災害復旧工事において、ケーソン据付が開始され本格的な復旧に着手しました。



23日

### 第8回岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催

平成24年度から定期に行っている被災3県の土木部長会議の第8回目を、今回は宮城県で開催し、復旧・復興事業に係る諸課題について議論し、情報を共有しました。

25日

### 津波防災シンポジウムを開催

「津波防災シンポジウム～地域で育てる津波防災文化～」を開催しました。群馬大学広域首都圏防災研究センター長・群馬大学理工学研究院教授 片田敏孝氏からは、「3.11東日本大震災の教訓～海と共存する文化を地域に築く」と題し、講演いただきました。

28日

### 宮城県建築物等地震対策推進協議会の開催

県内の建築物等の総合的な地震対策の推進を図る協議会の総会を開催しました。

6月

3日

### 任期付職員へ辞令伝達式

復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が伝達されました。

12日

### 総合防災訓練土木部防災訓練を実施

今後も起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ、県として総合防災訓練を実施しました。土木部訓練参加者：1,176名

14日

### 岩手・宮城内陸地震発生から5年

平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の発生から5年が経過しました。駒の湯温泉付近の耕英東地区砂防激特事業が実施中でした。

18日

### 外資定期コンテナ航路（韓国航路）の中国延伸

外資定期コンテナ航路は、中国／韓国航路が3航路・週3便、北米西岸航路が1航路・週1便の計4航路・週4便となり、東北・宮城に

立地する荷主企業にとっては、輸出入の選択肢が拡がり、物流コストの削減、国際競争力の強化に資するものと期待されます。

24日

### 単品スライド条項の運用拡充

生コンクリート類等についても、単品スライドの対象資材として適用を拡充しました。

29日

### 宮城県水防協議会を開催

関係行政機関、水防団体、学識経験者の審議により、今年度の宮城県水防計画が承認されました。

7月

5日

### 仙台港区県営中野1号上屋が竣工

仙台港区の港湾施設である中野1号上屋は、震災で甚大な被害を受けましたが、近隣に移転新築され、供用を開始しました。

9日

### 平成25年度春季地方ブロック土木部長等会議

東北・北海道ブロックの土木部部長等が山形県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

18日

### 宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式が行われました。



25日

### 南三陸町志津川東地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設 安全祈願祭

29日

### 仙台塩釜港管理・運営協議会・利用促進連絡会議

県・地元自治体、港湾利用者など地域が一

丸となって、新たな仙台塩釜港の利用促進に取り組んで行くため協議会及び連絡会議を開催しました。

28日

### 気仙沼市鹿折南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業着工

気仙沼市とURとの共催による鹿折(ししおり)地区及び南気仙沼地区の復興土地区画整理事業着工式が行われました。

31日

### 大衡仙台線小野工区開通式を開催

平成7年度より整備を進めてきた小野工区の、未供用区間1.3kmが開通しました。今回の開通で大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。

8月

7日

### 新坂元駅周辺地区 一団地の津波防災拠点市街地形成施設安全祈願祭

19日～9月6日

### 自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施

土木部、農林水産部の幹部職員が、派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対する御礼と、平成26年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。

24日

### ハイスクールサミットin東北開催

全国21道県から68名の高校生が集まり、東日本大震災からの復興等を踏まえ、「元氣な未来」をメインテーマとしてフォーラムを開催しました。

21日

### 仙台塩釜港仙台港区中央公園・湊浜緑地ネーミングライツ契約締結

住友スリーエム株式会社と仙台港区にある中央公園・湊浜緑地のネーミングライツの契約を締結しました。

26日

### 被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

29日

### 栗原地域事務所管内災害復旧完了

主要地方道古川佐沼線の透川橋災害復旧工事が完了し、栗原地域事務所管内における東日本大震災に伴う復旧事業が全て完了しました。

31日

### 花洲山BP2号トンネル工事安全祈願祭

国道108号における花洲山2号トンネル工事開始に伴い、安全祈願祭が行われました。2号トンネルは全長1,194mで4号トンネルに次いで2番目の長さとなっています。

9月

6日

### 仙台三本木線混内山工区全面供用

大崎圏域と仙台圏域を結ぶ重要な路線がより安全に通行できるようになりました。



8日～

### 県内各下水道浄化センターでふれあい感謝祭を開催

県内各地の流域下水道の各浄化センターで「下水道ふれあい祭り」が開催され、キャラクターショーや震災からの復旧過程の紹介、下水道にふれあう各種イベントで賑わいました。(参加者総数:3,917人)

10日

### 大型客船「ぱしふいっくびいなす」入港

石巻港区への「ぱしふいっくびいなす」の寄港は2年連続で、乗客は石巻市などを巡るオプションツアーに参加し、夕方に最終目的地の横浜港に向け出港しました。

13日

### 復興推進計画(応急仮設建築物活用事業)の変更認定

復興推進計画に応急仮設建築物を10件追加し、必要な字句を修正する変更について、内閣総理大臣から認定されました。(10市町、75件)

## 9月

13日

大型客船「飛鳥II」入港(仙台湾区)

27日

慶長使節船ミュージアム本復旧完了

被災したドック棟の大規模な復旧工事を終え、平成26年11月3日、約2年8ヶ月ぶりに開館しました。冬の風物詩として定着していた復元船「サン・ファン・パウティスタ号」のライトアップも復活しました。

30日～10月4日

災害査定(一次)

7月の豪雨などにより被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、29件358,551千円の査定決定額を受けました。

## 10月

7日

「復興まちづくり事業カルテ」を追加・更新

「復興まちづくり事業カルテ」について、沿岸市町全ての面整備事業を網羅するよう対象地区を拡大するとともに、既作成地区も内容の更新・充実を図りました。

9日

建設発生土利用に係る自治体間協定締結

東日本大震災の復興事業で発生した建設発生土の有効活用を目的とし、七ヶ浜町、塩竈市、仙台土木事務所、仙台塩釜港湾事務所の4団体間で協定を締結しました。七ヶ浜町の防災集団移転促進事業で発生する建設発生土を、仙台塩釜港に陸送後、浦戸諸島の盛土や災害公営住宅の敷地整備等に使用されます。

10日

国道398号 宮前工区が開通

宮前工区は地域に密着した生活道路であり、通学路に指定されているものの、歩道が設置されていないことや、山崎橋は重交通に対応しておらず、線形も悪いことから、交通事故が多発していました。今回、延長850m区間をバイパス化し、歩道・車道幅

員の確保、道路線形の改良、橋梁架換を行い道路機能の拡充を図りました。

16日

災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定を締結

災害発生時において、住宅を滅失した被災者が早期の住宅への入居を可能とするため民間賃貸住宅の空き室情報の提供や入居までの契約事務等に関する基本的事項について(公社)宮城県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会宮城県本部並びに(公社)全国賃貸住宅経営者協会連合会と協定を締結しました。

21→25日

災害査定(2次)

7月の豪雨により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、26件、161,704千円の査定決定額を受けました。

## 11月

1日

長沼ダムの試験湛水を開始

ダム本体工事等が完成したことから、ダムへ水を試験的に貯めてダム本体や放流設備、貯水池周辺などに問題がないかを確認するための「試験湛水」を開始しました。



8日

塩竈市港町地区の一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業認可書交付式

塩竈市港町地区において、一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業が認可されました。今後、緊急避難施設や避難路として機能する津波避難デッキ、観光客等の避難施設として津波復興拠点支援施設、マリゲート塩竈には備蓄倉庫が設置される予定です。

12日

耕英東砂防激特事業完成式

当地区は平成20年6月の岩手宮城内陸地震により甚大な被害に見舞われました。砂

防えん堤等の砂防施設群の整備を砂防激甚災害対策特別緊急事業等で進めてきましたが、施設整備が完成しました。

17日

仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典開催

多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了しました。慢性化していた多賀城駅周辺の渋滞緩和が期待されます。

18日

パナマックス級穀物船(石巻港区)

「ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA」入港 東日本大震災で被災した日和埠頭7号岸壁復旧を記念し、パナマックス級の大型船が飼料用とうもろこしを積載し、石巻港区に初入港しました。

## 12月

2→6日

災害査定(3次)

台風18号、台風26号により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分について、4件、56,971千円の査定決定額を受けました。

4日

コンテナ専用船「さがみ」就航・初入港

国内最大の内航コンテナ船「さがみ」が仙台塩釜港仙台湾区に初入港しました。今後、京浜港との連携が強化されることにより仙台塩釜港の国際競争力のさらなる向上が期待されます。

19日

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間事業説明会

20日

県営住宅の災害復旧工事が全て完了

全壊被害のあった、県営名取手倉田第二住宅1号棟(30戸)の建替工事が完了しました。これで、県営住宅災害復旧工事の全てが完了しました。

「3.11伝承・減災プロジェクト」伝承サポーター募集開始

3.11伝承・減災プロジェクトに賛同し、伝承・減災を後押ししていただける方々を広く募集し「伝承サポーター」として認定する

こととしました。企業、個人を問わずサポーターの立場でそれぞれの伝承・減災を進めていただきます。

21日

### 岩沼市「玉浦西地区第1期宅地引渡し式」

岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第1期35区画の宅地引渡し式が開催されました。

南三陸町 戸倉地区藤浜団地竣工式  
南三陸町戸倉地区藤浜団地における防災集団移転促進事業の竣工式が開催されました。

### 七ヶ浜町菖蒲田浜、花淵浜、代ヶ崎浜A、代ヶ崎浜B地区の被災市街地復興土地区画整理事業認可書交付式

被災市街地復興土地区画整理事業4地区が事業認可され、宮城県遠藤土木部長から渡邊七ヶ浜町長へ、事業認可書が、直接手渡されました。

## 平成26年1月

15日

### 北上運河河川災害復旧工事に関する安全祈願祭

北上運河河川災害復旧工事の安全祈願祭を行いました。安全祈願祭には、施工者の他、久保田県土木部次長ら約50名の関係者が出席しました。

16日

### 大河原土木事務所管内災害復旧完了

東日本大震災で被災した大河原土木事務所管内、207箇所の道路、河川、橋梁の災害復旧工事が、全て完了しました。



20日

第4期流域下水道指定管理者を指定  
指定管理者選定委員会で選定された候補者が、議会の議決を経て指定されました。これで、平成26年度から5年間の各流域下水道の指定管理者が決定しました。

県庁舎・議会庁舎災害復旧完了  
県本庁舎と議会庁舎と災害復旧工事が終了しました。

24日

### 大島架橋事業(仮称)二ノ浜1号トンネル貫通式開催

平成25年10月から掘削を開始していた(仮称)二ノ浜1号トンネル工事が順調に進捗し、貫通式を開催しました。

30日

### 桜並木に願いをかける貞山運河の復興～を開催

貞山運河に沿って、官民連携で桜を植樹する取組を始めることから、貞山運河と桜をテーマに県民と沿岸地域の復興について考える機会として「第16代佐野藤右衛門」氏を講師として招き、「知水講座」を開催しました。

2月

6日

### 鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会開催

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために国土交通省と合同で、懇談会を開催しました。

7日

### 宮城野原広域防災拠点構想の大規模事業評価答申

東日本大震災の教訓から、仙台貨物ターミナルを買収し、広域防災拠点として整備することについて、妥当との評価を得ました。

### 宮城県土木部発足80周年記念フォーラム開催

土木部発足から80年のあゆみを振り返りながら、東日本大震災からの復興を通じて、新しい時代を切り開くことをテーマに記念フォーラムを開催しました。東北大学 今村文彦氏、一般財団法人国土技術研究センター 谷口博昭氏に講演をいただきました。

8日

### 石巻市新蛇田(B・C-1・C-2街区)地区災害公営住宅着工

14日

### 仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

仙台塩釜港の優位性や自動車関連産業等を中心とした集積状況など、企業向けのセミナーを開催し、約400名のお客様にお越しいただきました。

15日

### 低気圧による豪雪対応

8日に続き15日の豪雪で、宮城県内各地の道路で通行止めが発生しました。記録的な豪雪だったため、除雪に約1週間を要しました。

3月

10日

### 山元町新山下駅周辺地区(第二期)災害公営住宅(25戸)完成

21日

### 桜植樹祭を開催

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取組の先駆けとして、小林製薬株式会社との共催により、岩沼海浜緑地公園・南ブロック内に60本の桜を植樹しました。

24日

### 東松島市鳴瀬給食センター跡地地区災害公営住宅(21戸)完成

25日

### (都)駅前大通線(亘理町)開通

亘理駅西口駅前広場から国道6号に至る路線(全体延長1,125m)が開通しました。駅利用者や通行車両等の利便性や安全性が向上するとともに、市街地の混雑緩和など、生活環境の改善が図られました。

26日

### 流域下水道災害復旧事業が全て完了

石巻東部浄化センターの水処理施設2系列の災害復旧工事が完成しました。これにより宮城県の流域下水道施設の災害復旧が全て完了しました。



29日

### (主)涌谷津山線 下屋浦工区供用開始

登米市豊里町中心市街地のJR気仙沼線アンダーボックス付近は、道路線形が悪く狭隘な道路でしたが跨線橋を含む900m区間の道路改良工事を実施し、安全で円滑な通行が可能になりました。

# 復旧・復興トピックス 2014

## 4月

1日

### 辞令伝達式を開催

新規採用職員35名,自治法派遣職員64名及び任期付職員6名が土木部に配属となり,部長による辞令伝達が執り行われました。

14→16日

### 自治法派遣職員研修を開催

自治法派遣職員(92名)を対象として,宮城県の被災状況,復興状況等の現状から,工事積算・監督・検査等,宮城県での実務に関する研修を開催しました。

18日

### 仙台塩釜港 外貿定期コンテナ航路増便

仙台港区と韓国釜山港と釜山新港をダイレクトに結ぶ航路が増便され,韓国航路が強化されました。



25日

### 仙台港国際ビジネスサポートセンター災害復旧工事完了

港を賑やかにするための活動をビジネス・文化の両面から支援することを目的とした施設です。津波による災害復旧工事が完了し,供用を開始しました。

25日

### 第1回復興まちづくり勉強会を開催

沿岸被災市町の復興まちづくり事業について,全国の自治体から新たに派遣された応援職員等を対象とした平成26年度第1回復興まちづくり事業勉強会を開催しました。

27日

### 岩沼市防災集団移転促進事業「玉

### 浦西地区第3期宅地引渡し式」開催

岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の第3期94区画の宅地引渡し式が開催され,今回をもってすべての参加者への引渡しが完了しました。

## 5月

17日

### 津波防災シンポジウムを開催

岩沼市民会館において「平成26年度津波防災シンポジウム 実践的防災のススメ～津波から生き残る～」を開催しました。基調講演として岩沼市長の井口経明氏より「千年先を見据えた岩沼のまちづくり」,東北大学災害科学国際研究所助教の佐藤翔輔氏より「災害と向き合う2つのキーワード:『多重防衛』と『実践的防災』の意味とその実際」と題し,ご講演いただきました。

22日～1月

### 中島海岸及び津谷川・外尾川災害復旧事業に係る検討ワーキング,検討会及び全体会の開催

災害復旧事業における景観や環境への配慮が必要なことから,地元住民が主体となる検討ワーキング及び専門的な評価を行う検討会を設置し,意見交換を実施するとともに,事業への反映に取組ました。

26日

### 遠刈田橋,秋山沢橋耐震補強工事完成

復興事業である橋梁耐震補強工事が,国道457号の遠刈田橋,秋山沢橋で完成しました。

31日

### 長沼ダム竣工式

昭和46年に実施計画調査を開始し,平成25年度末の試験湛水によりダムの安全性を確認しました。関係する皆様の御理解と御協力により,調査開始から43年の歳月を経て,竣工を迎えることができました。

## 6月

2日

### 任期付職員辞令伝達式を開催

6月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

12日

### 総合防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため,宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ総合防災訓練を実施しました。

13日

### 新北上大橋災害復旧工事安全祈願祭開催

津波により,一部落橋した北上大橋は,仮設橋の供用により早期に通行を確保していました。今回,本復旧工事の着手にあたり,工事の安全と北上地域の日も早い復興を祈念し,安全祈願祭を開催しました。

16日

### 五間堀川河川災害復旧工事 安全祈願祭開催

17日

### 土砂災害防止に関する講習会を開催

市町村職員を対象に,土砂災害防止に関する知識を深め,警戒避難体制の整備を促進するため,講習会を開催しました。今年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や,市町村間の意見交換会も実施しました。

19日

### 砂押川外河川災害復旧工事安全祈願祭開催

### 北上運河河川災害復旧工事安全祈願祭開催

27日

### (主)塩釜巨理線増田道路改良事業の一部供用開始

本事業は,「仙台空港臨空整備都市整備基本計画」の交通基盤施設として位置づけられており,バイパスを整備することにより,災害発生時の輸送路として機能強化,仙台空港と仙台塩釜港の連携機能強化が図ら

れるとともに、交通量が分散され地域住民の日常生活における安全性、利便性が向上しました。

## 7月

### 下水道協会誌(Vol.51 No.621 2014/07)に寄稿

下水道における地震・津波対策の特集記事として、「宮城県内の下水道施設の復旧への取組状況について」と題し、協会誌に寄稿しました。県内処理場の被災概要や沿岸部の公共下水道(南三陸町、仙台市、石巻市、気仙沼市)及び県流域下水道に関する被害状況とその対応について紹介しました。

### 復興まちづくり産業用地カルテを公表

被災市街地において産業誘導を予定する地区について、「復興まちづくり産業用地カルテ」を作成し、公表しました。復興事業で整備を行う“これから”の産業用地について、位置・規模、優遇助成制度や交通アクセス等の情報を掲載し、企業立地の検討材料として活用できるようにしました。

## 16日

### 生コン仮設プラントからの出荷開始(気仙沼市本吉地区・石巻牡鹿地区)

復旧・復興事業の本格化に伴う生コンクリートの需要増に対応するため民間事業者と県の協定に基づき設置した生コンクリートの仮設プラントから出荷が開始されました。

## 24日

### 地方法務局の体制強化に関する法務省への要望の実施

登記事務処理の長期化等による各種事業への影響が懸念されることから、事務官の増員等について要望を行いました。

## 31日

### 第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国のモデルとなる復興住宅整備を目指します。今年度第1回目となる会議を開催しました。(今年度は計3回開催)

## 8月

### 自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施

当県土木部、農林水産部の幹部職員が、現

在派遣をいただいている都道県を訪問し、これまでの応援に対するお礼と、平成27年度以降の継続派遣要請を実施しました。合わせて、震災からの復興に関する報告会を開催し、多くの方に参加いただきました。

## 9日

### スリーエム仙台港パーク(仙台港区中央公園)供用再開

スリーエム仙台港パークは震災の影響で利用できない状態となっていました。復旧工事が概ね完了し、約3年5ヶ月ぶりにほぼ全ての施設の供用を再開しました。

## 12日～

### 復興まちづくりのパネル展示

被災された方々が、より身近な場所で情報に接し、復興へのあゆみを実感できるよう、8月12日から当分の間、「イオンモール名取」店舗内で復興まちづくりに関するパネルを展示しました。

## 19日

### 貞山運河再生復興会議を開催

学識者や関係機関等から「貞山運河再生・復興ビジョン」に掲げる施策への取組内容に関する助言をいただくとともに、参加者の連携強化と調和の取れた復興を図ることを目的として、貞山運河再生復興会議を開始しました。

## 22日

### 志津川自然の家災害復旧工事完了

津波による災害復旧工事が完了し、供用を開始しました。

### 被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

南海トラフ巨大地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

## 9月

## 3日

### 第12回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議を開催

被災三県の土木部長等が会場の岩手県に集合し、復旧・復興事業の進捗見通し、集中復興期間以降の財源確保と課題解決に向けた活動等について、情報共有を図りました。

## 3日

### 県民の森中央記念館 木質化等改修工事完了

内装のみならず、外装も木質化をおこない

ました。外装仕上げに木質材料を使用することにより、自然にマッチした外観となりました。震災により長期休館しておりましたが、供用を開始しました。



## 9→12日

### 災害査定(2次)を実施

7月の梅雨前線豪雨及び台風8号等により被災した県南地域の公共土木施設について査定を実施し、県管理分で20件308,491千円の査定決定を受けました。

## 19日

### 水産技術総合センター海水ろ過設備 竣工

震災により被災した水産技術総合センター海水ろ過設備は一部のみの復旧でしたが、海水ろ過装置及び受水槽の復旧が完了しました。

## 22日

### 宮城県土木部優良建設関連業務表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務のうち、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。

## 25日

### (仮称)磯草3号トンネル貫通式

(仮称)磯草3号トンネル(乙姫1号トンネル)が貫通し、現地で貫通式を行いました。これにより、大島架橋事業の5つのトンネルすべてが貫通しました。



## 10月

3日

### 石巻港区大手ふ頭資材倉庫 竣工

津波により被災した資材倉庫が竣工し、供用を開始しました。船舶事故時等で必要となるオイルフェンス等を保管する倉庫です。

7日

### 「宮城県復興住宅計画」を改定

震災からの時間の経過に伴い、新たに顕在化してきた諸課題を踏まえ、今後、一層の整備の加速化を図るとともに、被災者のニーズを反映した適切な住宅整備を着実に進めるため、災害公営住宅の全戸完成時期や整備戸数及び年次戸数の見直しを主とした、計画の改定を行いました。

21日

### 舞根トンネル貫通式

平成26年5月末に着工した、東舞根復興道路事業の舞根トンネルが貫通し、貫通式を開催しました。貫通式には地元住民代表や気仙沼市、工事関係者など約50人が出席し、貫通を祝いました。

23日

### 二ノ浜1号トンネル本体工事完成

平成26年1月に貫通し、その後、覆工工等を施工していた(仮称)二ノ浜1号トンネル(浦島1号トンネル)が完成しました。

28日

### 被災宅地危険度判定士講習会の開催

被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

28→29日

### 第2回復興まちづくり情報交換会を開催

沿岸市町で復興まちづくり事業を担当する市町職員、県担当職員を対象とした第2回復興まちづくり情報交換会を開催しました。復興庁宮城復興局等からの情報提供の他、課題解決に向けたグループ討議を行いました。



## 11月

3→7日

### 日中韓三国地方政府防災交流会議への参加

国仁川広域市において、日中韓地方政府における防災教訓の共有をテーマにした「日中韓三国地方政府防災交流会議」が開催され、本県は東日本大震災からの教訓を踏まえた「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」について、発表を行いました。

4日

### 任期付職員辞令伝達式を開催

11月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

### 宮城県河川・海岸施設設計マニュアル(案)策定

国や被災県と協議しながら設計の具体的な考え方や照査方法などを統一・整理し、河川や海岸の津波対策施設等の復旧にあたって統一的な考えのもとで設計を行うため、宮城県河川・海岸施設等設計マニュアル(案)を策定しました。

13日

### (主)中田栗駒線 福岡工区開通

本事業は、登米市中田を起点として、三陸縦貫自動車道「登米インター」と東北縦貫自動車道「若柳金成インター」を結び、栗原市栗駒を終点とする(主)中田栗駒線の福岡地区の道路改良事業です。平成14年度より整備を進めてきた(主)中田栗駒線福岡工区のうち、未供用となっていた0.5km)区間が供用開始しました。これにより、福岡工区が全線供用(延長3.2km)となりました。

15日

### 大島架橋本体工事 着工式

(一)大島浪板線のうち、大島と本土を結ぶ大島架橋本体工事の現地施工に着工するにあたり、工事の安全と早期完成を祈念し、着工式が開催されました。

26日

### 被災三県用地確保対策連絡会議開催

東日本大震災の被災三県(岩手、宮城及び福島県)で、復旧・復興事業に係る用地取得の課題・対策について情報共有を図りました。

## 12月

### 仙台塩釜港(松島港区)浮さん橋 一部供用開始

津波により流失していた浮さん橋の復旧を行っていましたが、一部施設について供用を開始しました。浮さん橋は、大分県で製作され、松島まで曳航されてきました。



12日

### オフサイトセンター電気工事竣工

オフサイトセンターは旧消防学校の建物を利用する形で移転し、自家発電設備・無停電電源装置の設置、コンセントの増設を行い、12月に完成しました。竣工後の1月には原子力防災訓練が行われました。

5→19日

### 災害査定(3次)を実施

10月の台風19号等により被災した公共土木施設について査定を実施し、県管理分で40件540,189千円の査定決定を受けました。

17日

### 被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催

被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施し、今年度は4回開催しました。

22日

### 川内沢川放水路 通水安全祈願祭を開催

平成6年9月22日の豪雨は、仙台空港で総雨量515mmを観測するなど、名取・岩沼両市に甚大な浸水被害をもたらしました。このため、川内沢川の総合的な治水安全度の向上を図ることを目的として、上流に川内沢ダムを、仙台東部道路下流では広浦まで放水路を整備する計画を立案し、平成7年から河川改修に着手しました。事業着手から約20年の歳月をかけ整備を進めてきた放水路が概成したことから、通水安全祈願祭を行いました。

22日

**青少年の森森林学習館 改修工事完了**  
老朽化等による改修工事(屋根・外壁・内装・建具の改修)を実施しました。震災により長期休館しておりましたが、供用を開始しました。

平成27年1月

13日

**仙台環境開発大倉ダム左岸復旧工事 完成**

長年の貯水位変動、強風波浪等により浸食が進み、貯水池へ影響を与える恐れがある左岸法面の復旧工事が完成しました。

15日

**坂元川・戸花川安全祈願祭を開催**

東日本大震災により被災した坂元川・戸花川の災害復旧工事着手にあたり、施工会社5者の共催で安全祈願祭が行われました。

16日

**防災集団移転促進事業の造成工事着手等地区が100%に**

1月9日に開催された復興整備協議会において、石巻市雄勝町中心部伊勢畑地区と鮎川浜熊野地区の2地区が開発許可の同意を得て、16日の復興整備計画の公表により、県内の造成工事着手等地区が100%になりました。

22日

**州崎地先海岸 安全祈願祭を開催**

東日本大震災により被災した州崎地先海岸の災害復旧工事着手にあたり、安全祈願祭が行われました。

23日

**復興推進計画(応急仮設建築物活用事業)の変更認定**

復興推進計画に応急仮設建築物を27件追加し、認定済みの2件の期間を延長する変更について、内閣総理大臣から認定されました。(10市町、102件)

27日

**仙台塩釜港管理・運営協議会を開催**

県、地元自治体、港湾利用者など地域が一丸となって、仙台塩釜港の利用促進に取り組んでいくため、協議会を開催しました。

**平成26年度スマイルロードプログラム功績者表彰(東部土木事務所登米地域事務所)**

長年にわたり道路の清掃や緑化などの美化活動に積極的に取り組み、他の模範となる活動を継続されているスマイルサポーターに対し、知事感謝状の伝達を行いました。

2月

3日

**～住宅・社会資本～再生・復興フォーラムを開催**

阪神・淡路大震災からの復興を成し遂げた被災経験地の取組や教訓などを学ぶとともに、今後の持続可能な県土づくりに向けて、中長期的な視点から社会資本整備の役割やあり方などについて、有識者から提言をいただくことを目的としフォーラムを開催しました。基調講演では、一般社団法人減災・復興支援機構の木村拓郎様、豊橋技術科学大学の大西隆様に御講演いただきました。

3日

**石巻浄化センター水処理施設2系列覆蓋工事完成**

まちづくり等で増加が予想される汚水流入に対応するため、平成22年度より石巻浄化センター水処理施設の増設に着手してきましたが、覆蓋工事を以てすべて完了しました。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。

5日

**第13回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催**

被災三県の土木部長等が会場の福島県に集合し、被災三県での合同要望や住宅再建・確保対策について、情報共有を図りました。

9日

**迫川河川整備意見交換会を開催**

河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの地域の実情に応じ、学識経験者から意見をもらいながら河川整備を進めるために意見交換会を開催しました。(11月10日第1回意見交換会を開催)

12日

**(都)門脇流留線(魚町)道路改築工事安全祈願祭を開催**

海岸堤と合わせて多重防護の機能を有する高盛り土道路の整備により、災害に強い

まちづくりを目指すもので、石巻市内では初めての高盛り土道路に着工しました。

3月

6→12日

**東京スカイツリー® における復興PR実施**

東京スカイツリー5階展示スペースにて、「震災記憶の風化防止」、「継続的支援の必要性」、「これまでの支援に対する感謝」の意を込めて、被災市町と連携し、各種展示物等でPRを行いました。

16日

**第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラムにおいてシンポジウムを開催**

多重防御の考え方を津波防災に関する取組の先進事例として国内外に向けて情報発信を行うことを目的にシンポジウムを開催し、約250名の参加者が集まりました。

**「2015下水道防災シンポジウム in 仙台」に参加**

「第3回国連防災世界会議」に合わせ、東日本大震災から得られた経験と教訓を広く世界に発信するとともに、国内外からの様々なご支援に感謝の意を伝えることを目的とした上記シンポジウムに主催者として参加し、仙塩浄化センターの施設見学会や下水道の復旧に関する展示を行いました。

21日

**桜植樹祭を開催**

仙台港多賀城地区緩衝地において、「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく取組とし、佐野藤右衛門氏に寄贈していただいた「京都祇園しだれ桜」を記念植樹したほか、記念碑の除幕を行いました。



26日

**復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路着工式**

平成23年度から事業を進めてきたⅡ期(中田工区)において、今年度から本格的な改良工事に着手することから、Ⅲ期、Ⅳ期を含めて復興支援道路「みやぎ県北高速幹線道路」の着工式を開催しました。

# 復旧・復興トピックス 2015

## 4月

1日

### 辞令伝達式を開催

新規採用職員40名,自治法派遣職員111名及び任期付職員3名が土木部に配属となり,遠藤部長による辞令伝達が行われました。

15日

### 岩手・宮城・福島被災3県土木部長要望

国土交通省,復興庁,県選出国会議員に対して「集中復興期間の延長及び特例的な財政支援の継続を求める要望」及び「国が行う復旧・復興事業の整備促進と全面的な財政支援の継続を求める要望」を行いました。



16→17日

### 自治法派遣職員研修を開催

自治法派遣職員99名を対象として,宮城県の被災状況,復興状況等の現状や工事積算・監督・検査など宮城県での実務に関する研修を開催しました。

24日

### (主)河北桃生線バイパスの供用開始

(主)河北桃生線と(主)河南米山線の交差点は車道の幅員が狭く,通行車両の交通に支障をきたし,交通渋滞が発生していたことに加えて,歩道の幅員も狭いため交通事故の危険性がありました。そのため,バイパスを新たに整備し,歩車道の幅員を確保することで,歩行者の安全確保と渋滞の緩和を図りました。

## 5月

15日

### 仙台港を中学生が見学

福島県小野町立小野中学校2年生が仙台港の施設の見学に訪れました。フェリーターミナルと高砂コンテナターミナルを仙台塩釜港湾事務所の職員が案内し,仙台港の役割や港に停泊している貨物船などについて説明しました。生徒の皆さんからは,コンテナターミナルのクレーンやストラドルキャリアの迫力がすごかった,フェリーの大きさに驚いた,といった感想が寄せられました。



20→22日

### 第1次災害査定

平成28年3月の豪雨により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県管理分については,仙台土木事務所管内で7件,約1億円の査定決定となりました。

21日

### 東部土木事務所出前講座を開催

東松島市立矢本第二中学校第1学年の総合学習の一環として,「石巻地域における震災復興について」と題し東部土木事務所による出前講座が行われました。被災状況,復興まちづくり計画,震災の伝承,復旧復興事業などについて説明し,生徒の皆さんが地元の復旧復興や,将来のふるさとの姿について考える機会となりました。

30日

### 津波防災シンポジウムを開催

山元町中央公民館において「津波防災シンポジウム」を開催しました。基調講演として公益財団法人「ひょうご震災記念21世紀研究機構」副理事長兼研究調査本部長の室崎益輝氏にご講演いただきました。また,「伝承サポーター」認定式を行い,伝承サポーターに認定された個人・団体の方々に認定証を贈呈しました。

## 6月

4日

### 第5回復興道路会議の開催

復興道路等の早期完成を図るため,三陸沿岸道など復興道路,復興支援道路の整備状況を情報共有し,道路整備をまちづくりに生かしていく方策など話し合いました。

6日

### 川内沢川放水路竣工式

川内沢川では,平成6年9月22日集中豪雨による甚大な浸水被害を契機に上流に川内沢ダム,仙台東部道路より下流では放水路の建設に着手し,事業着手から約20年の歳月をかけ,放水路が完成しました。式典には,約100名の方に参加いただき,関係者への感謝の意を表するとともに,仙台空港を含む沿川地域の治水安全度が向上することを広くお伝えすることができました。



11日

### 土砂災害防止に関する講習会を開催

市町村職員を対象に,土砂災害防止に関する知識を深め,警戒避難体制の整備を促進するため,講習会を開催しました。今年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や,市町村間の意見交換会も実施しました。

12日

### 土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため,宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ,土木部防災訓練を実施しました。

18日

**蔵王山噴火対策砂防計画検討会**

蔵王山火山緊急減災砂防計画を踏まえ、県内の公共土木施設管理者が連携し、火山噴火への対策となる行動計画を策定する検討会を実施しました。

7月

11→12日

**住まいの耐震博覧会すまい元気フェア**

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに宮城県職員を派遣し、二重ローン補助などの住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。

17日

**(一)青根蔵王線が開通**

平成25年10月の台風26号で発生した土砂崩れにより約1kmにわたり通行止めとなっていた(一)青根蔵王線が開通しました。

19日

**漆沢ダムの「水と森と風のくに祭り」**

漆沢ダム湖畔において、第22回水と森と風のくに祭りを開催しました。今年度は、天気にも恵まれて参加者約330人と祭りを盛大に行い、特にイワナのつかみ取りなどは子供たちに大好評でした。



23日

**みやぎ県北高速幹線道路安全祈願祭**

みやぎ県北高速幹線道路IV期区間(築館工区)について、本格的な工事に着手することから、安全祈願祭が開催されました。祈願祭には、関係者約30名が出席し、道路改良工事の安全を祈願しました。

30日

**復興まちづくりパネル展開催**

県民の皆さまがより身近な場所で復興へのあゆみを実感できるよう、宮城県、石巻

市、東松島市、女川町が合同で、「イオンモール石巻」店舗内のほか仙台市の青葉通地下道ギャラリーにおいて、みやぎの復興まちづくりパネルを常設展示しました。

8月

1→31日

**「海の市」復興まちづくりパネル展示**

気仙沼市「海の市」協力の下、震災から5年目の夏を迎えた復旧・復興まちづくりの状況についてのパネル展を開催しました。



20日

**石巻災害公営住宅が完成**

石巻市黄金浜北地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅92戸で入居が始まっています。

21日

**海岸保全計画の変更**

宮城県では、平成16年に三陸南沿岸及び仙台湾沿岸の海岸保全基本計画を策定し、防護、環境、利用の調和のとれた総合的な海岸保全を推進してきました。しかし、平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、想定をはるかに超えた津波により、海岸保全施設が壊滅的な被害を受けるだけでなく、多くの尊い人命や財産が失われました。このため、平成23年9月に関係行政機関で構成される「宮城県沿岸域現地連絡調整会議」において、海岸堤防の高さや構造等の基本的事項を決定し、これに基づき、東北地方太平洋沖地震を踏まえた海岸保全基本計画に変更しました。

27日

**第2回貞山運河再生復興幹部会議開催**

東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台湾沿岸地域の復旧・復興に当たり、復興のシンボルとして誇れる貞山運河を再構築するため、平成25年5月に「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定しました。このビジョン推進に向け、昨年8月に学識者を中心とした

「第1回貞山運河再生復興会議」を開催しました。今回の「貞山運河再生復興幹部会議」は、「貞山運河再生復興会議」の下部組織にあたり、国・県及び運河沿川市町の行政機関が一同に会し、第1回会議での学識者意見などの内容報告や各運河での取組状況に関する意見交換を行いました。

27日

**被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施**

日本海沖連動地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

9月

5日

**仙塩浄化センター下水道ふれあいフェア開催**

11日

**気仙沼保健福祉事務所の太陽光竣工**

グリーンニューディール基金を用いて太陽光発電設備を導入しました。これにより停電時において防災用分電盤から緊急対策や県民情報発信のための電力供給が可能となりました。

10→11日

**関東・東北豪雨**

9月10日遅くから11日明け方にかけて、東北地方や関東地方に発達した積乱雲が停滞し、各地で観測史上最大の記録的な豪雨となりました。宮城県には、東北地方では初となる大雨特別警報が発表され、内陸部を中心に大きな被害をもたらしました。この大雨により、鳴瀬川水系渋井川で堤防が決壊し、約430haが浸水するなど宮城県内で多くの被害が発生しました。



17日

**七ヶ浜町の災害公営住宅が完成**

七ヶ浜町葛蒲田浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。

## 9月

20日

### 迫川フェスティバル開催

第26回長沼レガッタ会場において、長沼ダム機能を説明するビデオの上映や迫川改修などのパネル展示を行いました。また、官民協働で、「ダムと水環境に関するクイズ」を実施し、子供たちの長沼ダムへの関心を深めるとともに、長沼ダムの水環境の状況について知っていただきました。

## 10月

2日

### 戸倉復興道路の一部供用開始

南三陸町戸倉地区において、国道398号戸倉復興道路を一部供用開始しました。

8日

### 宮城県土木部優良建設関連業務表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務のうち、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。



10日

### 石巻浄化センター「流域下水道まつり」開催

石巻浄化センターを会場に第6回流域下水道まつりが開催されました。今回は天候に恵まれたこともあり、例年をはるかに上回る2,215名の来場者がありました。

21日

### 住宅フォーラム開催

フォーラムでは「住まい」の復興に焦点を絞り、復興の先にある新しいまちづくりのために、建築に関わる者がどのように取り組んでいくべきか、フォーラム参加者も交えて議論を深めました。

30日

### 蔵王レストハウスのサイレンが完成

蔵王山の火山活動の活発化に伴い、噴火

警戒区域に隣接している蔵王レストハウス周辺の観光客に避難を促すための、サイレン・スピーカーを設置しました。サイレンは約2km、スピーカーは約500m先まで音が届きます。



## 11月

2日

### 任期付職員辞令伝達式を開催

11月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

2日

### 被災宅地危険度判定士講習会の開催

被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

5日

### 東侍浜海岸災害復旧工事の竣工式

東侍浜地区海岸（石巻市荻浜地先）は、東日本大震災により、既存堤防が沈下、倒壊するなど甚大な被害が発生しました。これを受けて、早期に施設の機能回復を図るべく、災害復旧工事を実施してきました。工事着工から2年を経て工事は無事に完成し竣工式を開催しました。



16日→12月18日

### 第2～6次災害査定

9月の関東・東北豪雨等により甚大な被害が発生した公共土木施設について5次にわたり災害査定を実施し、県管理分について499件、約138億円の査定決定となりました。

29日

### 「住宅再建まるごと相談会」開催

南三陸町で行われた、宮城県や東北財務局などが主催する相談会に職員を派遣し、県の住宅再建支援制度や各種住宅施策などについての相談に対応しました。

## 12月

### 国道347号通年通行化

国道347号は12月までに延長11kmのうち道路改良区間延長5.0km、斜面对策区間延長3.2km計8.2kmが完了し、通年通行が可能となりました。

1日

### (主)泉塩釜線を四車線化

(主)泉塩釜線の多賀城市南宮工区は平成21年4月に暫定二車線で供用を開始しましたが、震災後、本路線と接続する三陸自動車道多賀城ICの整備にあわせて、四車線化工事を進めてきました。四車線化により、三陸自動車道と周辺地域のアクセス向上が図られます。



13日

### 国道4号線と栗原中央線の開通式

国土交通省及び栗原市が整備を進めてきた国道4号築館バイパス及び市道栗原中央線の開通式が行われました。栗原市街地における交通渋滞の解消、通勤通学時の安全確保や栗原中央病院へのアクセス向上に加え、市の東西交通軸として栗原市の豊かで活力ある地域づくりに寄与するものです。

14日

### 被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催

被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施し、今年度は4回開催しました。

15→17日

**舞根トンネル銘板に寄せ書き**

(主)気仙沼唐桑線「東舞根復興道路」の供用開始を前に、近隣の唐桑小学校へ通う児童たちに自分の住む街の復興の姿に関心を持ってもらうために、トンネル銘板の裏面に将来の夢などを寄せ書きするイベントを開催しました。

19日

**第6回復興加速化会議開催**

第6回復興加速化会議が開催され、石井国土交通大臣ほか村井知事、岩手県知事、福島県副知事、仙台市長などが出席し、工事の入札不調対策などについて話し合いが行われました。



平成28年1月

14日

**東北大学インフラマネジメント研究センターと協定を締結**

近年、社会資本や公共施設の維持管理及びこれらを担う人材の育成が喫緊の課題となっており、地域社会の持続的発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的に、相互に連携・協力を図るため協定を締結しました。

21日

**荒谷前地区海岸災害復旧工事の竣工**

荒谷前地区海岸は、背後の住宅や国道45号、下水処理施設などを保全するため、平成25年10月から災害復旧工事に着手し、気仙沼管内初のL1堤防として無事工事が完成したことから、地元住民、工事及び行政関係者の出席のもと竣工式を行いました。



22日

**住宅・社会資本再生復興フォーラム開催**

本フォーラムは、宮城県における震災復興の取組みを広く発信するとともに、その取組みを宮城のさらなる発展に繋げていくことを目的として、震災後2年目の平成24年度から毎年開催しています。4回目となる今回のフォーラムでは、東日本大震災からまもなく5年を迎える今、現在の復旧・復興状況についての報告が行われました。また、講演では「東日本大震災から真の復興を果たすために」と題して、増田聡教授(東北大学大学院震災復興研究センター長)から御講演を頂き、これまでの震災への検証を踏まえながら、真の復興を果たすために、今後5年間で何をすべきかなどについての提言をいただきました。

2月

18日

**石巻合同庁舎(新)・気仙沼合同庁舎(新)に着工**

震災による津波で被災した石巻合同庁舎及び気仙沼合同庁舎の移転・新築事業の各工事の契約が2月議会で議決され、工事の着工に向けて動き出しました。

19日

**雄勝港「浪板防潮堤」完成**

浪板防潮堤は、東日本大震災により被災した雄勝港(石巻市雄勝町)の防潮堤としては最初に完成しました。浪板防潮堤の前面の砂浜は海水浴スポットとなっていることから、地域住民、地域づくり支援団体「ナミイタ・ラボ」の意見を取り入れ、防潮堤の階段部分や展望スペースには、地域住民が自ら加工した玄昌石を使った波板地区らしい意匠が施されており、地域の方々と一緒に作り上げた防潮堤となっています。



24日

**「伝承プロジェクト」草津市で講演**

東日本大震災後の対応や教訓、取組み等について1県3市で「伝承プロジェクト」と題した報告会を全日本建設技術協会の協力のもと開催しました。

3月

12日

**(主)古川松山線「志田橋」供用開始**

平成19年度から橋りょうの架け替え整備を進めてきた(主)古川松山線「志田橋」が、供用を開始しました。(主)古川松山線は、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線であり、新たに架け替えられた「志田橋」の供用開始により、災害に強く、安全・安心で快適な交通が確保されます。



19日

**貞山運河「桜」植樹祭を開催**

多賀城市貞山公園において、「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく桜植樹会を開催しました。貞山運河への桜植樹は、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として官民連携で取り組むことを基本としています。

24日

**東舞根復興道路の供用開始**

(主)気仙沼唐桑線の東舞根復興道路は復興交付金道路事業としては宮城県初の完成となり、地域住民の利便性向上や地域の活性化、災害時における孤立解消や緊急避難道路としての役割が期待されます。

25日

**女川湾口防波堤が完成**

東日本大震災の津波により、甚大な被害を受け県内唯一の津波防波堤である女川湾口防波堤が完成し、漁港・港施設が概成する運びとなり、女川町の復興を地域の皆様に広くお伝えするため、完成式典を開催しました。



# 復旧・復興トピックス 2016

## 4月

1日

### 辞令伝達式を開催

土木部には新規採用職員40名、自治法派遣職員104名及び任期付職員11名が配属となり、遠藤土木部長による辞令伝達が行われました。

14→15日

### 自治法派遣職員研修を開催

自治法派遣職員を対象として、宮城県での被災状況、復興状況等の現状や工事積算・監督・検査など宮城県での実務に関する研修を開催しました。

14・16日

### 「平成28年熊本地震」が発生

14日午後9時26分頃、熊本県熊本地方を震源とするM6.5の地震が発生、続いて16日午前1時25分頃、M7.3の地震が発生しました。宮城県では国土交通省からの派遣要請に基づき、被災建築物の応急危険度判定を行う建築職員20名を派遣しました。

24日

### 国道346号「本吉バイパス」が開通

平成20年度から整備を進めてきました国道346号「本吉バイパス」が供用を開始しました。「本吉バイパス」は、旧本吉町中心部の道路の幅員狭小、歩道未整備、線形不良を解消するとともに、東日本大震災以降には、防災道路ネットワークを構築する上でも重要性が高い事業として、復興予算を活用して加速的に整備したものです。「本吉バイパス」の供用により、安全かつ円滑な交通が確保されるとともに、気仙沼・本吉地域における産業経済の活性化や観光振興、沿岸部と内陸部を結ぶ防災道路としての役割などが期待されます。



## 5月

11→13日

### 新任職員研修

平成28年度に採用された新任職員を対象として、土木部の概要や共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修、実際の復興事業の現場見学等を実施しました。



13日

### 海岸保全基本計画(三陸南沿岸)改定

改定にあたり、平成26年6月11日に改正された海岸法に基づき、海岸保全施設の維持管理に関する事項を記載した計画に変更しました。なお、仙台湾沿岸海岸保全基本計画については、平成28年3月に変更しました。

14日

### 津波防災シンポジウムを開催

東松島市コミュニティセンターにおいて、「津波防災シンポジウム 語り部が考える“伝承”の在り方～東日本大震災から5年、今、これから、何を語るか～」を開催し、約160名の参加者と伝承の在り方について理解を深めました。

31日

### 平成27年度土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール入賞作品パネル展

土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため、次代を担う小・中学生を対象に開催したコンクールの県審査入賞作品17点を展示しました。

## 6月

4日

### (主)岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐工区トンネル工事着工

主要地方道岩沼蔵王線は、岩沼市を起点とし、村田町を経て、蔵王町に至る幹線道

路であり、東北縦貫自動車道と仙台東部道路のアクセス道路であるとともに、仙台空港と内陸部を結ぶ東西軸として位置づけられている重要な路線です。東日本大震災時には、復旧車両等の通行に支障を来したことなどから、災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築のため、事業を進めているものです。

7日

### 土砂災害防止に関する講習会を開催

市町村職員を対象に、土砂災害防止に関する知識を深め、警戒避難体制の整備を促進するため、講習会を開催しました。今年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や、市町村間の意見交換会も実施しました。

10日

### 土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に土木部業務継続計画(BCP)の確認も行いました。

13日

### 国道398号新北上大橋が開通

東日本大震災の津波により、北上川左岸側の2径間(L=155m)が流出するなどの甚大な被害を受け、災害復旧事業により復旧工事を進めてきた新北上大橋が開通しました。



28日

### 女川湾口防波堤災害復旧事業が全建賞受賞

復旧にあたって水理模型実験等により復旧断面の検証を行い、経済性を考慮した工法(捨石マウンドに被覆ブロック15t型を水

深-25mまで部分連結構造とし、ケーソン堤は、根固めブロック2段積み構造とした)を取り入れたほか、開口部潜堤の天端高を変更することで、防潮堤計画高を抑え、女川町の復興まちづくりに寄与した点が高く評価され、表彰されることとなりました。

## 7月

9・10日

### 住まいの耐震博覧会すまい元気フェア

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに宮城県職員を派遣し、二重ローン補助などの住宅再建支援制度や各種住宅施策、耐震診断及び耐震改修工事の助成等についての相談に対応しました。

13日

### 宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県建設工事表彰式は、県が発注した工事のうち優良な工事を施工した施工業者及び安全管理に対する取組が優良であった現場代理人を表彰するもので、平成28年度は98社113名が受賞されました。

### 北部土木事務所が鳴瀬小学校で出前講座

児童の皆さんと水生生物の採取や観察を行い、鳴瀬川に生息する生物の特徴について調査しました。また、水難事故から身を守るため、川で遊ぶときの注意事項について説明しました。



### 大曲小学校総合学習に参加

子供たちが楽しみながら河川の素晴らしさと自然環境を守る大切さを学習するため、「NPO法人ひたかみの里」が二級河川定川で東松島市立大曲小学校の4年生38名を対象にした総合学習に参加しました。子供たちは、カヌー体験を始め、定川の歴史や災害復旧の概要などについて学習しました。NPOの講師が定川に生息する生き物を事前に採取し、間近で生態を学びました。また定川の水質について子供たち一人一人が水質試験を行い、定川の現状を確認しました。

15日

### 復興まちづくりパネル展開催

平成28年7月15日～8月18日まで、塩竈市マリゲート塩釜店舗スペースにおいてパネル展を開催しました。

8月

10日

### 国道398号「戸倉・波伝谷復興道路」が開通

「戸倉復興道路」及び「波伝谷復興道路」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町戸倉地区における防災集団移転団地と南三陸町中心市街地である志津川地区を連絡する道路として整備したものであり、南三陸町内では初の復興道路の開通となりました。



19日

### 2016夏休み！小学生と保護者の現場見学会

『新・みやぎ建設業振興プラン』で基本目標の1つに掲げた「担い手を“育てる”」の取組として小学生と保護者の方に参加いただきました。

30日

### 台風10号が東北地方太平洋側へ上陸

台風10号は、温帯低気圧の性質を帯びつつ、関東の東海上を北上し、次第に加速しながら北北西に進路を変え、強い勢力を保ったまま暴風域を伴って東北地方に接近しました。そして30日18時頃、1951年(昭和26年)の統計開始以降、初めて東北地方太平洋側(岩手県大船渡市付近)に台風が上陸しました。

### 被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

都心南部地下地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

9月

6日

### 矢本海浜緑地の工事安全祈願祭

東日本大震災の被害により、新しい場所に

再建する「県立都市公園矢本海浜緑地」の工事安全祈願祭を開催しました。被災前の矢本海浜緑地は、広場や豊富な遊具があり年間15万人が訪れる人気スポットでしたが、東日本大震災に伴う大津波により壊滅的な被害を受けました。新たに再建する公園は、平時は大人から子どもまで楽しめる広場などを整備し、災害時には利用者などの緊急的な避難先となる防災機能をあわせ持った公園となります。

10日

### 阿武隈イベント下水道ふれあいフェア開催

9月10日の「下水道の日」に合わせ、各浄化センターにおいて指定管理者と共催で下水道ふれあいイベントを開催しました。



15日

### 宮城県土木部優良建設関連業務・MVP表彰式

宮城県土木部発注の建設関連業務において、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。

25日

### 迫川フェスティバル'16

第27回長沼レガッタ会場において、長沼ダムのネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ(株)と協働でクイズやペーパークラフトによるダム模型づくりを実施し、子供たちや親御さんに長沼ダムへの関心を深めていただきました。

10月

1日

### 石巻浄化センター「流域下水道まつり」開催

石巻浄化センターを会場に第7回流域下水道まつりが開催され、2,000名を超える方々にお越しいただきました。汚水処理施設の見学や下水道に関するクイズ、津波により被災した石巻東部浄化センターの復旧状況等の展示を通して、下水道事業周知に努めました。

## 10月

15日

### 北上運河災害復旧工事が完成

東松島市を流れる北上運河において、県内の河川災害復旧工事では第1号となる竣工式を開催しました。当日は、宮城県石巻西高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏や記念銘板除幕、地元の皆様による鳴瀬鼓心太鼓の披露などを行いました。



19→21日

### 第1次災害査定

31日→11月2日

### 第2次災害査定

8月から9月にかけての連続した台風及び豪雨により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県管理分については7件、約1億8千円の査定決定となりました。

24日

### 国道398号(仮称)相川トンネル貫通

十三浜字猪の沢から浪田地内までの延長約119kmを計画区間とし、平成24年度から相川復興道路事業として整備を進めてきた当事業において、(仮称)相川トンネルが貫通しました。



## 11月

1日

### 災害査定臨場研修を実施

実際の災害査定状況に触れることで災害

対応力及び技術力向上を図ることを目的として、県及び市町村等の災害実務担当者を対象に第2次査定の現場にて臨場研修を実施しました。

14→16日

### 公共土木施設災害復旧事業研修会

公共土木施設災害復旧事業の災害査定実務を行えるよう、現地調査から朱入れまでの一連の流れを実践する研修会を2泊3日で開催しました。模擬査定の講師には災害復旧技術専門家を招き、本番さながらの状況で演習を行いました。

16→18日

### みやぎの復興まちづくりパネル展を東京都内で開催

昨年度に引き続き、東京都庁第1本庁舎南展望室においてパネル展を開催したほか、平成28年11月5日～6日に東京都江東区青海において開催された「みやぎフェスタ@MEGAWEB」に出展しました。国内外問わず多くの方にご来場いただき、宮城県の現在の姿を知ってもらいきっかけとなりました。

23日

### 「住宅再建まると相談会」開催

石巻市で行われた、宮城県や東北財務局などが主催する相談会に職員を派遣し、県の住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。



## 12月

3日

### (一)出島線出島工区が開通

当事業は昭和63年度に道路改良事業に着手し、平成16年4月には一部区間が開通しました。今回の開通により、本事業の全区間が完成となりました。

14日

### 多賀城市災害公営住宅が全戸完成

多賀城市は市内4地区に合計532戸の災

害公営住宅の整備を進めてきましたが、平成28年12月に宮内住宅(50戸)が完成したことにより、すべての災害公営住宅が完成しました。

17日

### (主)塩釜巨理線早股寺島工区が供用開始

宮城県が岩沼市と連携して平成24年度から整備を進めてきた、主要地方道塩釜巨理線早股寺島復興道路(L=0.8km)が供用開始となりました。早股寺島復興道路は、岩沼市復興整備計画にて新設する「第三次防御ライン」市道相野釜蒲崎線へ連絡する避難ルートの一部となっています。



20日

### 宮城県蔵王噴火対策砂防計画検討会を開催

蔵王山火山緊急減災砂防計画を踏まえ、県内の公共土木施設管理者が連携し、火山噴火への対策となる行動計画を策定する検討会を実施しました。

31日

### コンテナ貨物取扱量過去最高

平成28年の貨物取扱量が過去最高となる4711万トン(速報値)となりました。平成28年のコンテナ貨物取扱量が過去最高値を更新する24万6千TEU(速報値)となりました。



## 平成29年1月

12日

### 防災対応力研修

全国各地で突発的・局所的に発生している

自然災害への対応力を高めることを目的として、土木研究所および広島県砂防課の職員から「大規模土砂災害」に着目した講演をいただき、災害発生時の初動対応等を学びました。

23日

### 松島自然の家 竣工

昭和45年野蒜地区に開所した施設が、震災により被害を受けたことから、宮戸地区に移転改築したものです。今回は本館に先立ち、野外活動フィールド部を改築工事にて整備しました。管理棟・野外研修棟2棟・コテージ棟・トイレ棟2棟の計6棟からなり、自然にふれあう野外活動の学習の場を提供します。



16→31日

### みやぎの復興まちづくりパネル展を道の駅で開催

大崎市岩出山のあ・ら・伊達な道の駅でパネル展を開催しました。

31日

### (一)清水浜志津川港線「志津川復興道路」開通

南三陸町志津川地区で実施している被災市街地復興土地区画整理事業と一体的に整備を進めてきた、一般県道清水浜志津川港線「志津川復興道路」が供用開始しました。本路線は、南三陸町の中心市街地である志津川地区と町内の防災集団移転地とを接続するとともに、志津川地区において中心的な機能を持つ重要な幹線道路です。



2月

1日

### [H@!FM]みやぎ県北高速幹線道

### 路事業PR

H@!FMは、登米市民8万千人を対象とした地域コミュニティエフエムで、パーソナリティー佐藤アナとの掛け合いにより、事業目的や事業効果、現在の工事内容、開通予定などについて3日間にわたり放送されました。

3日

### 住宅・社会資本再生復興フォーラム開催

本フォーラムは、本県における震災復興の取組を広く発信するとともに、その取組を宮城のさらなる発展に繋げ、伝承していくことを目的として、震災後から毎年開催しています。今回のフォーラムでは、東日本大震災からまもなく6年を迎え、被災3県における現在の復旧・復興状況の報告とともに、集中復興期間の検証を踏まえ、今後取り組むべきことや、震災記憶の風化防止とともに大災害に備えた震災教訓の伝承のあり方について考えるため、コメンテーターに宮城学院女子大学学長の平川新様、コーディネーターにエフエム仙台防災・減災プロデューサーの板橋恵子様をお迎えし、パネルディスカッションを開催しました。



28日

### 登米沢地区海岸災害復旧工事が完成

気仙沼市登米沢地区海岸の防潮堤工事が完了しました。3月18日には地権者の方々と見学会を開催しました。

3月

17日

### 南三陸町災害公営住宅が全戸完成

南三陸町内で整備を進めていた災害公営住宅が全戸(738戸)完成しました。



18日

### 名取中央スマートIC開通

当スマートICの近隣には、仙台空港臨空都市「なとりりんくうタウン」や大型ショッピングセンターなどがあり、開通により震災からの経済復興や物流拠点の効率化、更なる高速道路利用者の向上が期待されています。

25日

### (都)大手町下増田線の供用開始

県と名取市により平成19年度から整備を進めてきた、都市計画道路大手町下増田線が完成し開通式を開催しました。



29日

### (一)大島浪板線 大島架橋上部工を架設

大島架橋事業は、一般県道大島浪板線(国道45号から大島まで)の8.0kmが事業区間であり、29日に中央径間の一括架設を行ったことで、離島大島と市内が気仙沼大島大橋で結ばれました。この架設により、震災からの復旧・復興の大きな弾みとなるとともに、気仙沼地域の産業・経済の発展や観光振興に大きく寄与するものと期待されています。



30日

### 山元町災害公営住宅が全戸完成

山元町内で整備を進めていた災害公営住宅が全戸(490戸)完成しました。



# 復旧・復興トピックス 2017

## 4月

3日

### 辞令伝達式を開催

自治法派遣職員85名に対して、土木部長による辞令伝達を行いました。



16日

### 白石川復興パネル展示

大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

25→26日

### 自治法派遣職員研修を開催

自治法派遣職員(52名)を対象として、宮城県の被災状況、復興状況等の現状と、宮城県での実務に関する研修を開催しました。



28日

### 第1回復興まちづくり事業勉強会を開催

新たに沿岸市町の復興まちづくり事業に携わる職員を対象に第1回復興まちづくり事業勉強会を実施しました。

## 5月

24→26日

### 新任職員研修を開催

平成29年度に採用された新任職員(39

名)を対象として、土木部の概要や共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修、実際の復興事業の現場見学等を実施しました。

25日→6月8日

### JR秋田駅東西自由通路でみやぎの復興まちづくりパネル展を開催

JR秋田駅東西自由通路(ぼぼろーど)において「みやぎの復興まちづくりパネル展inあきた」を開催しました。駅を利用する大勢の皆様沿岸15市町の様子をご覧いただきました。

26日

### 津波防災シンポジウムを開催

名取市文化会館において、「津波防災シンポジウム～新たなコミュニティで生かされる震災伝承とは～」を開催し、約300名の参加者と地域コミュニティにおける伝承の在り方について理解を深めました。



29日→6月9日

### 平成28年度土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール入賞作品パネル展

土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため、次代を担う小・中学生を対象に開催したコンクールの県審査入賞作品17点を展示しました。

## 6月

1日

### 宮城県港湾復興大会開催

宮城県港湾協会による「港湾復興大会」が開催され、宮城県の港湾復興に関する決議が採択されました。



12日

### 土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に土木部業務継続計画(BCP)の確認も行いました。

13日

### (主)女川牡鹿線 小乗トンネル貫通

復興道路事業の小乗浜工区は、平成24年度より女川町小乗浜地内から高白浜地内までの1.2km区間で事業を進めています。事業区間の一部である「(仮称)小乗浜トンネル」の貫通に伴い、トンネルの貫通記念式典を開催し、併せて同トンネルの名称を「小乗トンネル」に決定したことを披露しました。



17日

### (一)馬場只越線 只越バイパス開通

当路線は気仙沼市唐桑町中心部と三陸沿岸道路を結ぶ重要な路線であり、供用により、安全で円滑な交通確保が図られることから、唐桑地域の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されています。

## 7月

5日→8月6日

徳島県内3箇所でみやぎの復興  
まちづくりパネル展を開催

徳島県内3箇所でパネル展を開催しました。南海トラフ地震が危惧されている中で高い関心を寄せていただきました。

10日

## (国)398号 新相川橋開通

新相川橋は東日本大震災の大津波により上部工が流出し、交通が遮断されるなどの甚大な被害を受けたため、復旧・復興事業を推進しており、取付道路の完成に伴い、車輛の通行が可能となりました。



14日

(主)塩釜七ヶ浜多賀城線 菫蒲田  
浜復興道路開通

「菫蒲田浜復興道路」は東日本大震災時の教訓を踏まえ、避難車両がスムーズに通行が可能となる幅員を確保した道路整備を行いました。

3.11東日本大震災伝承板を菫蒲  
田地区海岸に設置

海岸災害復旧工事の竣工式に合わせて、2基目となる「東日本大震災伝承板」を設置しました。被災当時の写真や防潮堤復旧内容等について表示する看板となっています。

31日

仙台塩釜港(仙台港区)臨港道路  
ふ頭8号線完成

港内交通の円滑化を図るために整備を進めていた臨港道路ふ頭8号線が完成し、供用を開始しました。

## 8月

4→5日

## 徳島県内2箇所で出前講座を開催

7月5日～8月6日の期間で開催しました「みやぎの復興まちづくりパネル展」に関連し、徳島県庁および徳島県立防災センターで出前講座を開催しました。

7日

## 気仙沼向洋高校建築現場 見学会

小学生と保護者の方々に参加いただき、普段では入ることのできない高校の建築現場で建設機械に試乗するなど「ものづくり」の楽しさを体験いただきました。

8日

## 技術管理説明会を開催

県、市町村の技術職員(147名)を対象として、土木工事標準積算基準書の改定内容や復旧・復興事業の円滑な施工確保対策に関する事項等についての説明会を開催しました。

14日

仙台塩釜港(塩釜港区)西ふ頭(港  
橋前)胸壁完成

24日

復興まちづくり事業勉強会特別  
編を開催

独立行政法人都市再生機構に御協力いただき、「課題から仕事を作る。10年後を見据えた持続可能なまちづくり」をテーマに、「復興まちづくり勉強会 特別編」を開催しました。

## 9月

4→29日

みやぎ生協文化会館Wizでみや  
ぎの復興まちづくりパネル展を  
開催

みやぎ生協文化会館Wizにおいてパネル展を開催しました。この取組は県とみやぎ生活協同組合との包括連携協定の一環で行ったものです。

20日

## 二の倉道路改良工事完成

平成24年度から避難路として整備を進めてきた(一)岩沼海浜緑地線の復興道路L=362mが完成し供用開始しました。

22日

被災宅地危険度判定士講習会を  
開催

地震災害時の「被災宅地危険度判定」を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

26日

仙台塩釜港体験・視察セミナー  
開催

仙台塩釜港体験・視察セミナーを開催し、宮城県だけでなく東北各県から多数の方にご参加いただきました。

28日

北部土木事務所管内市町合同現  
場研修会を実施

管内市町の職員と合同で現地研修会を実施し、職員のスキルアップを図りました。(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区のトンネル工事と、山元町における東日本大震災の復旧状況を見学しました。



## 10月

5日

宮城県土木部優良建設関連業務  
および優良技術者表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務において、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。

11日

## (国)398号御前浜復興道路開通

「御前浜復興道路」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた女川町御前浜地区や尾浦地区の防災集団移転団地を結び、女川町の市街地と接続する道路であり、県が整備する復興道路として、女川町内では初の開通となりました。



## 10月

18→20日

### 東京都庁第一本庁舎45階展望室 でみやぎの復興まちづくりパネル展を開催

東京都庁第一本庁舎45階展望室においてパネル展を開催しました。多くの観光客の皆様にみやぎの現在を知っていただくことができました。



28日

### 気仙沼大島大橋 見学会

架橋本体工事が完了したことから、気仙沼市の協力をいただき見学会を開催しました。見学会には、約400名の方々に参加いただき、事業の進捗を自分の足で実感していただきました。



## 11月

1日

### 知水講座を開催

「みやぎの礎を築いた治水・利水対策～江戸・明治期の舟運・新田開発と河川の歴史～」と題して、江戸から明治期に行われた舟運事業や新田開発の関係について学び、県内の河川特性を知るとともに、今後の河川整備のあり方を考えるきっかけとして、知水講座を開催しました。

7日

### 女川町等との合同現場見学会を開催

技術の習得・継承を図るべく、女川町役場・石巻港湾事務所・東部地方振興事務所(水産

漁政部)・東部下水道事務所・東部土木事務所による合同現場見学会を開催しました。

26→27日

### 2017防災産業展in仙台“震災遺物”展示会を開催

防災産業展(仙台国際センター展示棟)において、津波により被害を受けた公共土木施設の“震災遺物”出前展示を行いました。今年の防災産業展は『世界防災フォーラム2017』や『ぼうさいこくたい2017』と連携して開催されたため、国内はもとより世界各地から多くの方が来場していただきました。



30日

### 防災集団移転促進事業の建築工事可能地区数が約99%に

11月末日時点の県内の防災集団移転促進事業の建築可能地区数が、約99%になりました。

## 12月

1→15日

### 石川県庁でみやぎの復興まちづくりパネル展開催

石川県庁19階においてパネル展を開催しました。5,000人を超える石川県の皆様にご来場いただき、みやぎの現在(いま)を感じていただくことができました。



15日

### 仙台塩釜港(仙台港区)高松2号ふ頭供用開始

東北地方整備局と宮城県で整備を進めていた高松2号ふ頭が完成し、供用を開始し

ました。



18→22日

### 第1次災害査定を実施

10月18～19日にかけての台風18号により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県市町村合わせて144件、約15億9千円の査定決定となりました。



20日

### 災害査定臨場研修を実施

実際の災害査定状況に触れることで災害対応力及び技術力向上を図ることを目的として、県及び市町村等の災害実務担当者を対象に第1次査定の登米市の現場で臨場研修を実施しました。



## 平成30年1月

24日

### (主)岩沼蔵王線 志賀姥ヶ懐トンネル貫通

主要地方道岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区のうち、岩沼市大師地区と村田町姥ヶ懐地区を結ぶ「志賀姥ヶ懐トンネル」が貫通したことから、貫通式を開催しました。



26日

### ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラムを開催

震災から7年を迎えるにあたり、復旧・復興事業の進捗状況や発展期の取組を示すとともに、震災の教訓とその伝承に向けて、政策研究大学院大学 徳山教授、東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター 久田センター長より講演をいただきました。

26日

### 宮城県土木部技術研究発表会を開催

住宅・社会資本再生・復興フォーラムに合わせ、技術研究発表会を開催し360名が参加しました。

30→31日

### 公共土木施設災害復旧事業研修会

公共土木施設災害復旧事業の災害査定実務を行えるよう、現地調査から朱入れまでの一連の流れを実践する研修会を1泊2日で開催しました。模擬査定の講師には4人の「災害復旧技術専門家」を招き、本番さながらの状況で演習を行いました。



2月

3日・25日

### 「住宅再建相談会」に職員を派遣

気仙沼市及び石巻市で行われた、住宅再建相談会に職員を派遣し、県の住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。

9日

### 防災ヘリコプター管理事務所新築工事完成

防災ヘリコプター管理事務所新築工事が完成しました。旧ヘリポート施設は東日本大震災で被災したため、仙台空港に隣接する岩沼市下野郷中坪地区へ移転復旧したものです。



17日

### 釜閘門の地元住民向け現場見学会を開催

北北上運河釜閘門(定川北閘門)の復旧工事は、施工中に明治期に造られた木造閘門の一部が出土し、「北北上運河釜閘門遺構調査委員会」を設置して保存方法を検討するなど施工にあたり多くの課題がありました。閘門部分の工事が完了することから、地元住民を対象とした現場見学会を開催しました。



27日→3月18日

### 兵庫県「人と防災未来センター」でみやぎの復興まちづくりパネル展を開催

兵庫県「人と防災未来センター」にてパネル展を開催しました。多くの来場者へ宮城県の復興を伝えることができました。



3月

1→2日

### 東京・丸ビル「MARU de MIYAGI2018」パネル展を開催

### みやぎ絆大使による復興PR

三菱地所及び河北新報社主催のイベント「MARU de MIYAGI2018」(会場:東京都丸ビル)の場をお借りして、復興まちづくりのパネル展示を行いました。1日には、みやぎ絆大使であるサンドウィッチマンにみやぎの復興と魅力についてPRしていただき、会場がにぎわいました。

17日

### 岩沼海浜緑地公園で「桜植樹会」を開催

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づき、東日本大震災からの復興の象徴、津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として、官民連携で岩沼海浜緑地公園において、植樹会を開催しました。



25日

### (一) 弘川町向線 伊里前工区開通

一般県道弘川町向線は、津波により大きく被災した旧歌津町中心部の伊里前地区と弘川地区を結ぶ、重要な幹線道路であり、今回の供用により、安全で円滑な交通確保が図られるとともに、歌津地域の復興を加速させ、水産業や観光振興にも大きく寄与することが期待されています。



28日

### みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国モデルとなる復興住宅整備を目指すことを目的に、平成24年度から開催されている当会議を今年度はサロンを含め3回開催しました。

# 復旧・復興トピックス 2018

## 4月

1日

### 辞令伝達式を開催

自治法派遣職員に対して、土木部長による辞令伝達を行いました。

15日

### 「平成30年度ドーロ・クリーン大作戦」(大島地区)実施

(一)大島線(気仙沼市大島)の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的として『平成30年度ドーロ・クリーン大作戦』を、大島で開催された“気仙沼つばきマラソン”に先立ち、マラソンコースの一部となる一般県道大島線の約7.5kmの区間において実施しました。



18→19日

### 自治法派遣職員研修開催

自治法派遣職員を対象として、宮城県での被災状況、復興状況等の現状と、宮城県での実務に関する研修を開催しました。

20日

### 衛生携帯電話・PHSイエデンワ通信訓練実施

大規模地震災害時に備えた安否確認訓練の年間実施計画に基づき、各事務所に設置されている衛星携帯電話及びPHSイエデンワの通信訓練を実施しました。

27日

### 復興道路(一)荒浜港今泉線開通

東北地方太平洋沖地震の津波により被災した「一般県道荒浜港今泉線」の荒浜港から逢隈地区中心部までのL=4.1kmについて、被災を受けた市街地や各集落を接続する復興道路として平成24年度から整備を進めてきており、工事の完成後は順次、供

用開始をしております。今回、津波浸水対策のため、道路を嵩上げ整備した「鳥の海工区」が完成したことから、通行を開始いたしました。



## 5月

14日

### 土井復興副大臣が津波漂流物対策事業を視察

土井復興副大臣が、県が仙台塩釜港仙台区で進めている津波漂流物対策事業を視察しました。仙台区は、東北の物流拠点として重要な役割を担っていますが、震災時は港湾施設そのものの被害に加え、津波により完成自動車や資材等が臨港道路に漂流する等して啓開作業に時間を要したため、震災初動期の港湾機能に大きく影響しました。このような二次災害を防止するとともに、背後地への津波被害の軽減、緊急輸送路・避難路等の確保、港湾機能の早期回復を図ること等を目的として整備するものです。



17日

### 平成30年度 防災訓練担当者養成研修実施

自然災害に備えて、正しい防災知識を持ち、各職場における配備及び訓練の計画を立案もしくは補助し、職場における防災担当者となる職員の育成を目的として、土木部の技術職員を対象に防災研修(旧:土木部防災リーダー養成講座)を実施しました。

22日

### 村井知事が復興現場の視察を実施

村井知事が「“みやぎの復興現場”訪問事業」の一環として、(一)石巻女川線、浦宿道路改良事業(牡鹿群女川町浦宿浜地内)の現場視察を行いました。浦宿道路改良事業は、女川浦宿浜地内における狭隘・線形不良による交通障害を解消するとともに、防災道路ネットワークの構築を目的とした事業で、現在は(仮称)浦宿橋の下部工事が行われています。



## 6月

6日

### 平成30年宮城県港湾復興大会開催

宮城県港湾協会による「港湾復興大会」が開催されました。

9日

### 仙台塩釜港向洋地区ふ頭再編改良事業着工式

国土交通省及び県の主催による「仙台塩釜港向洋地区ふ頭再編改良事業着工式」を開催しました。仙台塩釜港(仙台区)は、東北全体のコンテナ取扱量の約5割を担う東北地方経済を支える港湾です。本事業は、コンテナ貨物の取扱いが増加している高砂ふ頭の混雑解消と物流の効率化、更なる貨物の増加への対応を目的として事業採択されたものです。

12日

### 平成30年度土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の向上をはかるため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に土木部業務継続計画(BCP)の確認を行いました。



28日

### 塩竈市海岸通1番2番地区第一種市街地再開発事業施設建築物建設工事(1番地)地鎮祭・着工式

「塩竈市震災復興計画」において中心市街地の復興と再生の拠点に位置づけられている、1番地建設工事の地鎮祭・着工式が開催されました。式典には施行者である組合関係者をはじめ国、県、塩竈市、事業の関係者ら約70人が出席し、組合の鈴木理事長の挨拶のほか、土井復興庁副大臣や御来賓の方々からの御祝辞がありました。当事業により今後、住宅棟、事務所棟、店舗棟が整備され、塩竈市の玄関口にふさわしい復興のシンボルとなることが期待されます。

7月

20日

### 気仙沼向洋高校改築工事完了

旧宮城県気仙沼向洋高校は、東北地方太平洋沖地震及び地震に伴う津波により壊滅的な被害を受けたことから、学校全体を気仙沼市波路上瀬向から内陸の気仙沼市長磯牧に移転し復旧することになり、改築工事が進められていました。20日をもって、気仙沼向洋高校の改築工事が完了いたしました。



21日

### 定川災害復旧工事竣工式開催

平成24年10月から東松島市及び石巻市において進めてきた定川災害復旧工事が完成したことから、竣工式を平成30年7月21日に開催しました。竣工式では、東松島市赤井小学校の「赤井いぶき太鼓」の演奏をはじめ、3.11東日本大震災伝承板、竣工記念銘板の除幕、くす玉開披が行われました。今回の工事完成により、定川を遡上する津波や豪雨による水害から周辺の市街

地が守られ、地域住民の安全安心の確保が図られることが期待されます。



26日

### (主)女川牡鹿線 五部浦第二トンネル開通

今回、事業区間の一部である五部浦第二トンネルが完成したことから、開通式を開催しました。式には、女川町長、町議会議員をはじめ女川牡鹿線県道改良整備促進期成同盟会の方々など約40名を御来賓に招き、くす玉開披及びテープカットを行いました。式の最後には車列パレードを行い、トンネルによる事業効果を実感していただきました。



8月

1→3日

### みやぎの復興まちづくりパネル展in東京都庁 開催

東京都庁第一本庁舎45階展望室においてパネル展を実施しました。都庁での開催は4回目となります。今回は、「被災市町復興まちづくり」のほか、「3.11伝承・減災プロジェクト(災害復旧の進捗等)」、「東京都が行っている東日本大震災に伴う支援」について展示いたしました。延べ6,000名近くに及ぶ国内外多くの観光客の皆様にもみやぎの復興の姿を知っていただくことができました。

7月24日→8月3日

### 2018夏休み！小学生と保護者の親子現場見学会 開催

普段近寄ることのできない工事現場の見学や体験コーナーで建設機械等に触れるなど「ものづくり」の楽しさを体感していただくことで、建設産業の魅力と役割について理解していただくため、小学生とその保

護者を対象に「親子現場見学会」を開催しました。工事現場近隣の小学生とその保護者を対象に延べ8日間開催し、306名の方々にご参加いただきました。

10日

### 東北縦貫自動車道への(仮称)栗原ICの新設許可

県では、現在復興支援道路として整備を進めている「みやぎ県北高速幹線道路」から東北縦貫自動車道へ直接乗り入れできる、「(仮称)栗原インターチェンジ」の整備を計画しておりました。このたび、国土交通大臣から高速道路との接続について、許可されました。新たなインターチェンジの整備により、みやぎ県北高速幹線道路による沿岸部と内陸部の広域連携が一層強化されるとともに、県北地域や沿岸市町の産業活動や観光交流の更なる活性化が期待されます。

9月

28日

### 熊本県議会による「裏沢川砂防堰堤」(直轄砂防事業)の視察

熊本県議会(建設常任委員会8名、土木部長、関係課長等、計16名)による「裏沢川砂防堰堤」(栗原市栗駒)の視察がありました。事務所長から東日本大震災における熊本県からのこれまでの多大なる支援に対する謝意を伝え、「平成20年岩手・宮城内陸地震」の概要や砂防施設の整備状況等を説明しました。



23日

### 第2回石巻市復興の森づくり植樹祭2018開催

国営追悼・祈念施設として国・県・石巻市が連携して整備している石巻南浜津波復興祈念公園で、「第2回石巻復興の森づくり植樹祭2018」が開催されました。植樹祭には地域住民や関係団体から約400人が参加し、公園北側のかさ上げ工事が終わった約3,000平方メートルの敷地に、約40種3,700本の苗木を、1本1本植栽しました。石巻南浜津波復興祈念公園は2020年度に完成予定ですが、同協議会は公園完成後も引き続き森づくり活動を実施していく予定です。

## 9月

28→10月9日

### みやぎの復興まちづくり パネル展in新潟ふるさと村開催

新潟ふるさと村アピール館において、「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。今回は、復興まちづくり推進室のパネル30枚、防災砂防課の「3.11伝承・減災プロジェクト」パネル14枚に加え、新潟県応援派遣職員の方が取り組まれた復興事業について紹介するパネル5枚も展示しました。

## 10月

10日

### 2018秋休み！小学生と保護者の親子現場見学会 開催

小学生とその保護者を対象に「親子現場見学会」を開催しました。小学生31名、保護者25名が参加しました。

23日

### 平成30年度 宮城県土木部優良専門工事業表彰式開催

宮城県土木部優良専門工事業表彰式を開催しました。優良専門工事業表彰は、元請企業と下請企業との間で対等な関係の構築を図ると共に、下請企業の専門技術の維持と更なる向上を図り、地域建設産業の担い手及び技術者の確保に資することを目的に、今年度から新たに表彰を行いました。



26→27日

### 全国運河サミットinみやぎ開催

運河沿川10市町5活用団体が協働し、「全国運河サミットinみやぎ」を開催しました。歴史家で作家の加来耕三氏の基調講演及び県内外の運河沿川自治体や有識者によるパネルディスカッションでの議論を踏まえ、全国運河サミットinみやぎ宣言において、未来に向けて運河を活かしたまち

づくりの方策となる宣言を取り纏めることができました。

31日

### 平成30年度津波防災シンポジウム開催

女川町生涯学習センターホールにおいて「津波防災シンポジウム伝承を継続するために～地域の強みを津波防災に生かす～」を開催しました。このシンポジウムは、平成18年度から津波防災意識の向上を目的として開催しており、今回で12回目の開催となりました。

## 11月

1→15日

### みやぎの復興まちづくりパネル展in宮城県図書館 開催

1日から15日にかけて、宮城県図書館において「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。延べ約15,000名に及ぶ多くの来館者の皆様に、沿岸15市町の復興の姿を見ていただくことができました。

17日

### (国)398号石巻バイパスⅡ期(大瓜工区)開通

一般国道398号石巻バイパスⅡ期(大瓜工区)約3.4kmについては、Ⅰ期(南境工区)に引き続き、平成21年度に事業着手し、事業用地の協力をいただきながら工事を進め、供用を開始しました。今回の供用により、石巻市街地の混雑区間を經由しない新たな東西交通軸が形成されるとともに、大規模災害時における避難路のリダンダンシーが確保されるなど、石巻圏域の広域連携の強化や地域の安心・安全の向上に資することが期待されます。



### 仙台塩釜港松島港区 災害復旧工事竣工式開催

仙台塩釜港松島港区は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、港湾施設や背後の胸壁等が

被災する等、甚大な被害を受けました。宮城県では、これら被災した港湾施設の復旧のほか、胸壁等の海岸保全施設については今後数十年から百数十年に一度程度発生する比較的頻度の高い津波(レベル1津波)に対応した施設の復旧を進めてきました。本工事の完成により、津波等による浸水被害から背後にある観光地が守られ、地域の方々や来訪者の方々の安全・安心の確保等が期待されます。

## 12月

4日

### 外資コンテナ定期航路(中国航路)新設

仙台塩釜港(仙台港区)と上海港など中国各港をダイレクトに結ぶ新たな航路が開通されました。この航路は、韓国の港湾に寄港することなく、仙台塩釜港と中国各港を直接結ぶ航路です。このため、中国各港との間の定時性が高まることや新たな寄港地(連雲港・太倉)と結ばれることなど、本県をはじめ東北各県に立地する企業による中国との輸出入の利便性が更に向上するものと期待されます。

25日

### みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期(中田工区)開通

みやぎ県北高速幹線道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流を強化する全長約24kmの地域高規格道路です。既に開通済のⅠ期区間に加え、このたび、Ⅱ期区間中田工区(登米市迫町佐沼～登米市中田町宝江)が開通したことにより、沿岸部と内陸部を結ぶ広域道路ネットワークが形成され、登米市街地の交通渋滞の緩和や、地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られるとともに、宮城県の復興にも大いに寄与することが期待されます。



26日

**気仙沼港海岸護岸災害復旧事業  
(小々汐地区・梶ヶ浦地区) 完成**

気仙沼港海岸護岸災害復旧事業について、小々汐地区は平成27年10月に、梶ヶ浦地区は平成26年7月にそれぞれ護岸工事に着工し、このたび最後に残った陸間工事が完成しました。小々汐地区・梶ヶ浦地区とも東日本大震災により沈下した護岸の機能回復を図りました。

**平成31年1月**

16→18日

**第3回みやぎ型管理運営方式現地見学会開催**

宮城県では、将来にわたり持続可能な水道経営を確立するため、全国初となる上水道・工業用水道・流域下水道の3事業を一体で官民連携運営する「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」の導入に向けて取り組んでいます。16日から18日にかけて、工業用水道の「大梶浄水場(仙台市)」と流域下水道の「仙塩浄化センター(多賀城市)」、「県南浄化センター(岩沼市)」の3か所で現地見学会を開催し、事業に関心の高い民間事業者延べ約250名に参加いただきました。今後、2021年度中の事業開始を目指し、取り組んでいます。



24日

**片浜地区海岸災害復旧事業が完成**

東日本大震災で被災した片浜地区海岸の災害復旧事業が完成しました。事業延長L=753.9m、復旧高さTP+7.2mの防潮堤となります。



25日

**都市計画法制定100周年記念  
フォーラム開催**

平成31年は、旧都市計画法が大正8年に公布されてから100年、また新都市計画法が昭和44年に施行されてから50年という大きな節目となりました。これを踏まえ、これまでの宮城県のまちづくりを振り返り、これからの都市計画制度の新たな役割を展望することにより、都市計画に対する理解と関心を深めることを目的として本フォーラムを開催しました。当日は約170名の方々にご参加いただきました。

2月

6日

**仙台港首都圏セミナー開催**

宮城県・仙台市・仙台商工会議所など官民で組織する仙台国際貿易港整備利用促進協議会は東京都内において「仙台港首都圏セミナー」を開催し、荷主企業や物流業者、船会社など約460名に御参加いただきました。第1部のセミナーでは、仙台塩釜港利用企業の弘進ゴム株式会社様、高麗海運ジャパン株式会社様から御講演いただき、また、県からは、様々な航路の就航状況やコンテナ貨物取扱量、港湾整備状況について説明しました。



6日

**釜閘門カードの一般配布開始**

東部土木事務所では、平成30年10月27日に開催された「明治150年記念施策全国運河サミットinみやぎ」のスタディツアーで、イベントに参加された方への記念として配布した釜閘門カードを、運河沿線の復興状況をより多くの方々に知っていただくため、一般配布することとしました。

22日

**大島架橋事業(一)大島浪板線大浦工区・小々汐工区開通**

大島架橋事業において整備を進めてまいりました、大浦工区及び小々汐工区(大浦防災集団移転団地から小々汐防災集団移転団地を結ぶ約1.8km区間)が開通しました。これにより、(一)大島浪板線の円滑な交通確保が図られ、大浦地区及び小々汐地区へのアクセス向上が期待されます。

3月

1→15日

**みやぎの復興まちづくりパネル展In青葉通り開催**

青葉通地下道ギャラリーにおいて、「みやぎの復興まちづくりパネル展」開催しました。今回は本県のパネルに加え、福島県のご協力のもと、福島県の復興状況を伝えるパネルも併せて展示しました。

18日

**小乗浜復興道路(仮)小乗浜橋 連結式開催**

小乗浜復興道路事業は、(主)女川牡鹿線と(一)牡鹿半島公園線を結ぶ復興道路事業であり、女川町中心市街地と小乗浜地区防集団地や津波により甚大な被害を受けた沿岸集落へのアクセス機能向上を図るものです。(仮)小乗浜橋は、小乗浜復興道路事業の一環として平成28年5月に下部工工事に着手し、平成30年2月より上部工工事を進めておりますが、この度、上部工床板コンクリートの最終打設を迎えたことから、連結式を開催しました。



21日

**戸倉地区海岸災害復旧工事の完成報告会開催**

東日本大震災で甚大な被害を受けた戸倉地区海岸災害復旧工事が完成したことから、地元の方や事業にご協力いただいた方に対して完成報告会を開催しました。報告会は、戸倉公民館で工事概要等を説明した後、現場を見学しました。

# 復旧・復興トピックス 2019

## 4月

1日

### 辞令伝達式開催

自治法派遣職員47名に対して、土木部長による辞令伝達を行いました。

18→19日

### 自治法派遣職員研修開催

自治法派遣職員を対象として、宮城県での被災状況、復興状況等の現状と、宮城県での実務に関する研修を開催しました。

25日

### ダム情報伝達連絡会 開催

洪水警戒時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催しました。



26日

### 冬期通行規制解除国道398号開通式 開催

(主)築館栗駒公園線は23日に、国道398号と(一)岩入一迫線は三日後の26日に冬期通行規制区間を開通させました。国道398号は今年度もGW前に、栗原市と湯沢市の共催により、花山温湯ゲート前で開通式が開催されました。

### 蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

## 5月

24日

### 七ヶ浜海岸花浜地区海岸災害復旧工事完成

七ヶ浜海岸花浜地区の災害復旧工事が完成しました。この工事の完成により平成

27年度から進めてきたL=268mの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。



28日

### 女川町横浦地区の造成工事完成

女川町横浦地区の開発行為完了検査及び公告を行い、防災集団移転促進事業のうち、県の開発許可が必要な地区は全て造成工事が完了しました。

29→31日

### 新任職員研修開催

令和元年度に採用された新任職員(34名)を対象として、土木部の概要や共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修、実際の復興事業の現場見学等を実施しました。



31日→6月6日

### みやぎの復興まちづくりパネル展in千葉県開催

5月31日から6月6日まで、千葉県後援の下、千葉市の複合施設「Qiball(きぼーる)」において「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。今回は、当室のパネル30枚、本県防災砂防課の「3.11伝承・減災プロジェクト」パネル12枚に加え、千葉県応援派遣職員の方が取り組まれた復興事業について紹介するパネル4枚も展示しました。



## 6月

5日~

### 「土砂災害危険箇所パトロール実施

毎年「土砂災害防止月間」である6月に、県民に土砂災害の危険性を認識してもらうことを目的として、宮城県砂防ボランティア協会や各市町とパトロールを実施し、周辺住民等へ斜面の現況等を説明するとともに、緊急時の早期避難を呼びかけるなど危機意識の醸成を図りました。



12日

### 令和元年度 土木部防災訓練実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の向上をはかるため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に土木部業務継続計画(BCP)の確認を行いました。

17日

### 超過洪水対応演習実施

管理4ダム(花山、栗駒、荒砥沢、小田)において、平成30年に山形・秋田で発生した梅雨前線豪雨等を事例として、超過洪水のただし書き操作に必要な予測計算や、ゲート開度設定等の机上訓練を実施しました(H31計5回実施)。

30日

### (一)馬場只越線 只越橋開通

東日本大震災で甚大な被害を受けた只越川の河川災害復旧工事に伴って架け替えられた「只越橋」を含む(一)馬場只越線が完成し、地元住民が参加した開通式を行いました。橋名板は、地元小学生が橋梁名等を記載し、設置しました。

7月

9日

**(主)石巻鮎川線 小網倉浜復興道路開通**

小網倉浜復興道路は、東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市小網倉浜地区と清水田浜地区へのアクセスを担う復興道路です。開通式には関係者をはじめ地元住民が参加し、新たな復興道路の開通を祝いました。



16日

**桜川河川災害復旧工事完成**

東日本大震災で被災した桜川の災害復旧事業として、河川と県道・町道の整備を一体的に行いました。河川堤防はL1津波対応の堤防となっており、7月16日に工事が完成し、7月31日に県道の交通開放を行いました。

18日

**(主)奥松島松島公園線 社会資本整備総合交付金事業(復興枠)完成**

経年劣化したモルタル吹付けを改修する災害防除工事が完成しました。この工事の完成により平成29年度から進めてきた手樽地区の社会資本整備総合交付金事業(復興枠)が完了しました。



20日

**中島海岸 小泉海水浴場再開**

東日本大震災で被災した気仙沼市中島海岸の「小泉海水浴場」が再開されました。中島海岸では、平成30年5月に計画高T.P.14.7mのL1防潮堤が完成し、その後、海水浴場の再開に向けて、防潮堤背後に駐車場等の整備(市)や津波等表示板の設置を行ったものです。

8月

6→8日

**出前講座(栗原市自主防災組織)開催**

旧町村ごと10箇所で開催された栗原市危機対策課主催の「自主防災組織代表者会議」においてダムの役割等について説明を行い、防災・減災に対する理解を深めて頂きました(10会場、200名出席)。

9日

**(都)源光町田線道路改良工事完成**

当該区間は、未改良区間 L=200mについて平成26年度から歩行者の安全性向上及び交通の利便性の向上を図るため、現道拡幅工事を行いました。通学児童等歩行者の安全性向上及び築館地区中心部の交通の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化に寄与するものです。



19日

**環境アドバイザー現地検討会開催**

東日本大震災の復旧・復興工事の実施にあたり、環境の各分野の専門家・学識経験者の方々を「宮城県環境アドバイザー」として登録し、環境配慮事項について、助言・指導をいただきながら、工事を実施しました。令和元年度は、全4回の現地検討会を開催し、環境への配慮を行っています。

28日

**技術管理説明会開催**

県、市町村の技術職員(149名)を対象として、土木工事標準積算基準書の改定内容や復旧・復興事業の円滑な施工確保対策に関する事項等についての説明会を開催しました交流の更なる活性化が期待されます。

9月

17日→10月4日

**東日本大震災からの復興まちづくりパネル展～いわて・みやぎ・ふくしま～in福島県 開催**

復興が進む岩手・宮城・福島の“今”，そして震災の記憶を次の世代に伝える新たな企

画として3県合同のパネル展を福島市の「コラッセふくしま」及び福島県庁で開催し、多くの方々に復興の状況をお伝えしました。

17日

**二級河川津谷川 第3回環境学習開催**

小泉小学校3～4年の児童を対象に、今年度も3回(6月・7月・9月)津谷川周辺で野外活動を行い、捕獲したチョウの観察を実施しました。



26日

**設備部門別専門研修(ダム・河川設備等部門)開催**

若手設備職員の技術力向上のため、「積算業務(ダム・河川施設)」について演習を実施しました。

30日

**佐賀川水門の本体整備 完了**

田尻川との合流部付近で整備を進めてきた佐賀川水門の本体整備が完了しました。引き続き、築堤や護岸等の整備を図り、沿川地域における浸水被害の軽減を図ります。

10月

9日

**防災対応力研修～災害復旧実務応用講座～実施**

全国各地で発生している局所的大規模災害への対応力を向上させるため、県・市町村等職員を対象に国土交通省防災課の基準係長から「最近の防災行政の動向について」、災害査定官から「わかりやすい災害復旧事業」の講演をいただき、災害発生時の対応や心構え等を学びました。

18日

**(国)直轄権限代行による道路啓開**

(国)349号は令和元年東日本台風で甚大な被害があったことから、「道路法第48条の重要物流道路等の管理の特例」に基づき、国土交通省が道路啓開を代行しました。今回の道路啓開は、重要物流道路制度創設後、全国初めての取組となります。

年次ごとの復旧・復興トピックス

復旧・復興進捗状況

土木部各所属の活動記録

復旧・復興事業完成事例

復興フォーラム開催記録

資料編

## 10月

23日

### 一級河川名取川水系北貞山運河 災害復旧工事 完成

北貞山運河河川災害復旧工事(その2)のL=4.5kmが完成しました。この工事の完成により平成26年度から進めてきたL=5.0kmの北貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

30日

### くりこま絆の森植樹プロジェクト 開催

平成20年6月の「岩手・宮城内陸地震」による犠牲者の鎮魂と失われた緑地の再生、堆積した土砂の流出防止を目的に、土砂災害により被災した耕英東地区(駒の湯温泉)において、植樹会を開催しました。この取組は平成25年から実施しており、今年地域住民や関係団体等、約90名が参加し、ブナやナラ、ハンノキ等の苗木約800本を植樹しました。

## 11月

8日

### 令和元年台風19号により被災した 河川管理施設等の技術検討会(第1回)

令和元年東日本台風により、県内各地の河川管理施設に被害が発生しました。特に丸森町においては、記録的な豪雨となり、その流域である内川、五福谷川及び新川では、18か所の堤防が決壊するなど、甚大な被害となりました。このため、堤防決壊に至った要因分析と、その結果を踏まえた復旧工法等について意見を伺うことを目的として、学識経験者や有識者により構成される「令和元年台風19号により被災した河川管理施設等の技術検討会」を開催しました。

10日

### 水門・陸閘自動閉鎖システム 運用開始

津波注意報や津波警報、高潮警報等の発表時に現地で人が操作することなく、水門・陸閘のゲート閉鎖を行うことができるよう通信ネットワークを構築し、安全かつ迅速・確実に自動で閉鎖するシステムをつくりました。令和元年11月10日には、東名水門(東名運河)において、宮城県第1号と

して自動閉鎖システムの運用を開始しました。今後も順次、沿岸部の水門や陸閘の整備を行い、運用を開始していきます。



12日→2月7日

### 第1次～第8次災害査定実施

10月12日～13日にかけての台風第19号(令和元年東日本台風)により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県市町村合わせて1,790件、41,173,896千円の査定決定となりました。

22日

### 水戸辺川河川外災害復旧工事(その1工区)完成

東部土木事務所登米地域事務所が気仙沼土木事務所管内の震災業務支援として事業の管理監督を行っている、南三陸町戸倉地区の水戸辺川災害復旧工事(その1工区)が完成しました。

## 12月

6日

### UAV(ドローン)を配備

立ち入りに危険を伴う場合や、地上からの調査では被害の全貌把握が困難又は時間を要する場合等に、迅速に被災状況を把握する有効な手段として活用されるとともに、公共施設の維持管理等においても、高所や広大な敷地等の巡視・点検等に活用することなどを目的とし、土木事務所とダム事務所にドローンを計10台配備しました。

13日

### 下羽沢災害防除工事完成

道路防災点検の結果等に基づき、道路斜面の災害防除工事を行っています。登米管内計画11箇所のうち、3箇所目となる(一)志津川登米線の下羽沢工区が完成しました。



21日

### (主)岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐道路 路志賀姥ヶ懐トンネル開通

(主)岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐道路の志賀姥ヶ懐トンネルは平成24年度より社会资本整備総合交付金(復興枠)事業として整備を進めてきました。開通に伴い、岩沼市と村田町のアクセスの向上が図られ、交通が安全なものとなりました。



26日

### (一)大島浪板線の一部区間供用開始

浪板橋から浪板2区防災集団移転団地入り口までの600mの区間については、のり面にひび割れが見つかり、地盤が弱いことも確認され、この区間だけ供用が延びていました。その後、夏から追加の強化工事が完了し、12月26日に供用を開始しました。

## 令和2年1月

17日

### 一級河川北上川水系南沢川流域 の減災対策協議会幹事会開催

台風19号により大きな被害を受けた南沢川流域の防災・減災の取組を検討するため、国・県・市で構成されている「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会[南沢川流域]」の第1回幹事会が登米合同庁舎にて開催されました。

21日

### 一級河川名取川水系増田川河川 災害復旧工事完成

増田川河川災害復旧工事L=97mが完成しました。この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.9kmの増田川河川災害復旧事業が完了しました。

22日

**気仙沼港災害復旧工事完成**

朝日地区の臨港道路工事が完成したことに伴い、気仙沼港の港湾施設および海岸保全施設の災害復旧工事が全て完成しました。



30日

**(国)349号丸森地区 国が別ルートで本復旧**

(国)349号は道路啓開に続き、国土交通省が権限代行で災害復旧事業を実施しており、「丸森地区防災対策技術検討会」で審議した結果、「山側への別ルート」で本復旧を進めることが決まりました。

31日

**みやぎ県北高速幹線道路「紫雲山大橋」完成**

復興支援道路として整備を行っているみやぎ県北高速幹線道路事業(第III期・佐沼工区3.6km)において、迫川を渡河する紫雲山大橋の橋梁上部工工事が完成しました。



2月

3→18日

**東日本大震災からの復興まちづくりパネル展～いわて・みやぎ・ふくしま～in岩手 開催**

2月3日から2月18日まで「岩手県庁 1階 県民室」において、「東日本大震災からの復興まちづくりパネル展～いわて・みやぎ・ふくしま～」を開催しました。9月の福島県開催に引き続き、「復興まちづくり」をテーマとして岩手県・宮城県・福島県の3県合同でパネル展を開催したものです。岩手県の多くの皆様に、宮城県を含めた被災3県の復興の姿を知っていただくことができました。



26日

**総合運動公園大型映像装置完成**

供用から20年が経過し、大型映像装置の機能低下が顕著な状況だったことから、平成30年から2カ年計画でリニューアル工事を実施しました。本工事で更新される大型映像装置は、既設同様にフルカラーLED方式ですが、性能が飛躍的に向上しています。



28日

**「3.11東日本大震災伝承板」を仙台港区と松島港区に設置**

震災の経験を風化させることのないよう後世に「ながく」伝承していくこと、また、今後発生しうる災害などに対する迅速な避難行動の啓発を目的として設置している「3.11東日本大震災伝承板」を仙台港区(仙台向洋海浜公園内)と松島港区(松島グリーン広場内)に設置しました。今回設置したものを含め県内沿岸5市町5箇所に伝承板を設置しています。

3月

2→13日

**東日本大震災からの復興まちづくりパネル展～いわて・みやぎ・ふくしま～in宮城県開催**

2月の岩手県に続き、仙台市の青葉通地下道において、3県合同のパネル展を開催し、多くの方々に復興の状況をお伝えしました。



5日

**高砂コンテナターミナルトラックゲート新築工事完成**

東日本大震災により被災した高砂コンテナターミナルの拡張事業によるトラックゲート建替工事が完了しました。



22日

**女川町・小乗浜復興道路開通**

平成24年度より事業を進めてきた小乗浜復興道路について、女川町小乗浜地区と高白浜地区を結ぶ事業延長L=1.2kmが開通しました。



26日

**野々島地区海岸毛無崎地先海岸災害復旧工事完成**

毛無崎地先海岸の災害復旧工事が完成しました。この工事の完成により平成29年度から進めてきたL=0.42kmの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。



年次ごとの復旧・復興トピックス

復旧・復興進捗状況

土木部各所属の活動記録

復旧・復興事業完成事例

復興フォーラム開催記録

資料編

# 復旧・復興トピックス 2020

## 4月

1日

### 辞令伝達式開催

新任職員及び自治法派遣職員に対して、土木部長による辞令伝達を行いました。



9日

### 東松島市・上小松バイパス供用開始

(一)大塩小野停車場線上小松地区は、人家連担地区で道路幅員も狭小、歩道未整備である本路線唯一の未改良区間でした。地域住民の交通安全確保などを目的としバイパス整備を行い、4月9日に供用を開始しました。



24→27日

### 土木部長・次長と地方公所長との意見交換会開催

令和元年度の部各課室・地方公所の運営方針やマンパワー不足対策、新たな社会資本整備計画等について意見交換を行いました。

28日

### 東北地方整備局と6県1市土木部長等との意見交換 開催

整備局企画部長及び東北6県土木部長が、リモート会議により、令和3年度以降の予算確保や人材確保、新型コロナウイルス対応などについて、意見交換を行いました。

## 5月

18日

### Web会議開催（仙台土木事務所）

働き方改革の一環として、打合せなどに要する移動時間の短縮を図るため、ICTを活用した手法の導入を模索しています。今回は初めて既存の端末等を利用し、Web会議にて発注者・施工者・CM業務受託者の3者会議を実施しました。



25→29日

### 自治法派遣職員研修【自主学习】開催

自治法派遣職員外（30名）を対象として、宮城県での被災状況、復興状況等の現状と、宮城県での実務に関する研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、各所属で講義動画を使った研修を開催しました。



28日

### 中島地区海岸で植樹作業実施（気仙沼市）

背後地と一体となった景観の形成を目的として、地域性や環境アドバイザーの意見等を考慮し、クロマツなどの植樹作業を行いました。



## 6月

3日

### 新任職員研修開催

令和2年度に採用された新任職員（28名）を対象として、土木部の概要や予算、安全、共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修を実施しました。

12日

### 令和2年度6.12土木部防災訓練実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、「みやぎ県民防災の日」に合わせて土木部防災訓練を実施しました。同時に土木部BCPの確認と気仙沼市、七ヶ浜町、塩竈市にて水門・陸閘の自動閉扉の遠隔操作も行いました。

12日

### 陸閘自動閉鎖システム運用開始

津波・高潮被害防止のため整備を進めていた、水門・陸閘の自動閉鎖システムが完成し、運用を開始しました。津波注意報・高潮警報等が発表されてから5分後に、朝日3号及び4号陸閘が自動で閉鎖します。



30日

### (一)泊崎半島線 泊崎復興道路事業完了（南三陸町）

東日本大震災により被災した(一)泊崎半島線の復興道路事業が完了し、供用を開始しました。これにより、歌津地区の復旧・復興道路事業が全て完了しました。



7月

3日

「東日本大震災からの復興災害公営住宅整備の記録」発行

「災害公営住宅整備の記録」は、平成27年度に中間報告としてとりまとめていたが、全戸完成したことにより、東日本大震災からこれまでの国・県・市町その他関係機関における取組に加え、課題への対応についての検証や、今後に向けた提言を加筆し、改めて発行しました。

16日

宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式を行いました。



22日

(国)398号 長清水道路・橋災害復旧事業完了(南三陸町)

東日本大震災により被災した、(国)398号の長清水地区の道路・橋梁災害復旧事業の全ての工事が完了しました。



8月

17日

石巻港探検ツアー開催(石巻港湾事務所)

石巻港整備・利用促進期成同盟会主催「石巻港探検ツアー」が開催されました。石巻市内及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し、海から港内を見学しました。

20日～

gacco研修「防災学」受講(仙台土木事務所)

東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な防災学の礎を築くため、東北大学災害科学国際研究所が制作したウェブサービス型の講座を計4回にわたり受講し、防災の視点や伝承の取組について学びました。



25日

石巻市・金比羅橋連結式開催

相川復興道路事業は、防災道路ネットワークの構築、地域間のアクセス向上などを目的とした延長約1.9kmのバイパス整備路線です。このうち延長251mの金比羅橋の整備が進み8月25日に橋梁の連結式を開催しました。

9月

4日

建設業法令等遵守講習会開催

建設工事に係わる県内の市町村、県各機関(95名)を対象に、請負契約の適正化に関する知識等についての講習会を開催しました。

23日

東日本台風災破堤3河川本復旧工事完了

令和元年東日本台風で破堤した高倉川(角田市)、半田川(角田市)、斎川(白石市)の3河川について、23日までに本復旧工事が完了しました。

29日

金華山港災害復旧工事完了(石巻市)

令和元年東日本台風により被災し復旧工事を進めていた金華山港防潮堤外災害復旧工事が完了しました。この工事の完成により、石巻港湾事務所管内の令和元年災(女川港、金華山港)は全て完了となりました。



10月

3日

(一)高城停車場線(松島橋)開通式開催(松島町)

二級河川高城川に架かる松島橋は、平成24年から災害復旧工事を進めてきました。高城川左右岸が結ばれることで、松島町の復興はもとより、観光振興など地域の発展期寄与することが期待されます。



5日

(一)大島浪板線 本土側本線供用開始(気仙沼市)

国道45号から浪板地区までの約L=1.0kmの本線部工事が完了し、供用を開始しました。これにより本土側の全区間で供用となり、大島側との通行の利便性が一層高まりました。



5日

令和2年第1次災害査定実施(大河原土木事務所)

7月28日～29日の豪雨により被災した土木施設について災害査定を受験しました。若手技術職員の貴重な経験を積むことができました。



## 11月

9日→11月10日

### 第2次災害査定実施 (丸森町)

9月10日～9月14日にかけての豪雨による公共土木施設の被害箇所について災害査定第2次査定を実施しました。県市町村合わせて7件、53,656千円の査定決定となりました。



27日

### 三地方ダム事務所合同洪水演習実施

新型コロナウイルスの感染などによりダム職員が不在となる不測の事態に陥った場合でも、ダム機能を維持する必要があることから、仙台地方ダム及び栗原地方ダムの職員を対象に、漆沢ダムの洪水演習などの研修を行い、バックアップ体制の構築を図りました。



30日

### 女川港(横浦地区ほか)水門・陸閘遠隔化運用開始

女川港横浦地区、高白地区で水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。

- ◆横浦：陸閘2基、水門2基
- ◆高白：陸閘1基、水門1基



## 12月

5日

### 工業高校を対象とした現場見学会開催

建設産業の働く現場を見学してもらうことで、魅力ある建設産業をアピールし、現役工業高校生の就労促進に繋げることを目的とし、3現場で現場見学会を開催しました。



21日

### 高砂コンテナターミナル新多目的置場等供用開始 (仙台市)

高砂コンテナターミナル拡張整備の一環として新たに整備した多目的置場等の供用を開始しました。本施設は、コンテナへの貨物の積み込み作業等を行うCFSや、税関検査場として利用されます。



25日

### (一)大衡仙台線 宮床工区開通式開催(大和町)

大和町の宮床工区約2.3km区間については、平成24年度から事業を進めてきました。開通により、県北圏域と仙台市を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。



## 令和3年1月

22日

### 「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)」策定・公表

「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)」は、「新・宮城の将来ビジョン」における土木・建築分野の計画として策定したもので、土木部が今後10年間(令和3年度から令和12年度)に取り組んでいく社会資本整備の基本理念や行動計画などを明らかにする運営方針であり、これまでの「宮城県社会資本再生・復興計画」に代わる計画となります。



28日

### 石巻市・西中瀬橋供用開始

東日本大震災により甚大な被害を受けた(国)398号「西内海橋」及び「東内海橋」は、現在より上流側(約100m)の位置に「内海橋」として再整備を行い、令和2年9月11日に供用を開始しました。中瀬へ渡る「西内海橋」は「西中瀬橋」に名称を替えて再整備を行い、令和3年1月28日に供用を開始しました。



29日

### 復旧・復興道路(南三陸町内)全事業完了

(国)398号戸倉道路復興道路事業の完了により、南三陸町内の復旧・復興道路事業が全て完了しました。安全で円滑な交通環

境確保と、観光振興などの地域の発展に大きく寄与することが期待されます。

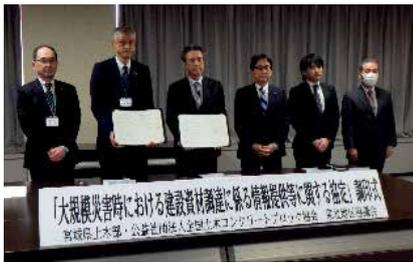


## 2月

### 9日

#### 「大規模災害時における建設資材調達に係る情報提供等に関する協定」締結

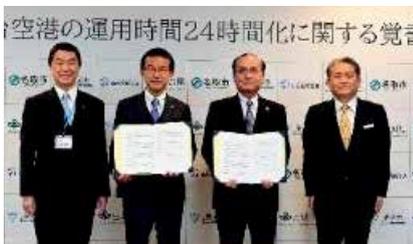
宮城県土木部と公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会東北地区協議会は、大規模災害時における応急復旧工事等の実施に当たり、被害拡大の防止や応急復旧工事に迅速に着手するための建設資材調達に係る情報提供等について協定を締結しました。



### 10日

#### 「仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書」締結

宮城県と名取市・岩沼市との間で、仙台空港の運用時間を24時間まで延長できる旨の覚書を締結しました。



### 13日

#### 福島県沖を震源とする地震発生（震度6強）

令和3年2月13日（土）23時08分頃に福島県沖の深さ55kmでマグニチュード7.3の地震が発生し、宮城県では最大震度6強（蔵王町）を観測しました。津波注意報は発表されませんでした。

### 28日

#### 長清水川 河川災害復旧事業完了（南三陸町）

長清水川の河川災害復旧事業が完了しました。これにより長清水地区の全ての復旧・復興事業が完了しました。



## 3月

### 17日

#### 七北田川 河川災害復旧工事完了（仙台市）

七北田川河川災害復旧工事L=379mが完成しました。この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=4,901mの七北田川河川災害復旧事業が完了しました。



### 19日

#### 中島地区海岸災害復旧・復興事業完了（気仙沼市）

中島地区海岸は平成30年度にL1津波対応の防潮堤が完成し、今年度は離岸堤と周辺整備が完了し、復旧・復興事業が全て完了しました。



### 20日

#### 宮城県沖を震源とする地震発生（震度5強）津波注意報発表

令和3年3月20日（土）18時09分頃に宮城県沖の深さ59kmでマグニチュード6.9の地震が発生し、宮城県では最大震度5強（仙台市、石巻市、岩沼市、登米市、東松島市、大崎市、蔵王町、松島町、涌谷町、美里町）を観測しました。また、18時11分に宮城県に津波注意報が発表されましたが、19時30分に解除されました。

### 28日

#### 石巻市・石巻南浜津波復興祈念公園開園

「石巻南浜津波復興祈念公園」が3月28日に開園しました。県と市が整備した公園の中心に、国が国営追悼・祈念施設を設置したもので、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓の伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的に整備されたものです。

